

マウンテントレール

セロー225(SEROW)新発売

特集:セロー225でトレールの新市場開拓へ!





“トレールのヤマハ”が、いま再びトレールのあり方を原点から問いなおして新開発した『セロー225』が、8月1日より新登場します。セロー：SEROWとはカモシカ。その名のとおり、225ccのゆとりあるパワーと軽量・スリム・低シート高のジャストサイズボディで、より深く大自然に駆け込む“マウンテントレール”です。さあ、みなさまのお店でもトレールの世界に新しい楽しさを切り拓く『セロー225』で、新しいトレール市場の開拓をおすすめください。

- カラー：ホワイト/フォレストグリーン、ホワイト/ファイヤーレッド
- 標準現金価格：32万9千円（北海道、沖縄は6千円高）



■セロー225仕様諸元

- 全長2055mm ●全幅825mm ●全高1160mm ●シート高810mm ●軸間距離1350mm ●最低地上高285mm ●乾燥重量102kg ●舗装平坦路燃費60km/ℓ (50km/h) ●最小回転半径1.9m ●制動停止距離14m (50km/h)
- 4サイクル・単気筒・223cc ●内径×行程70×58mm ●圧縮比9.5:1 ●最高出力20PS/8000rpm ●最大トルク1.9kg-m/7000rpm ●始動方式キック式 ●点火方式CDI ●燃料タンク容量7.6ℓ ●潤滑方式圧送式 ●バッテリー容量12V3AH ●1次減速(比)ギヤ(3.318) ●2次減速(比)チェーン(3.000) ●変速機リターン式6段 ●変速比①3.090②2.000③1.428④1.125⑤0.925⑥0.793 ●フレーム高張力鋼管ダイヤモンド型 ●タイヤ(前)2.75-21-4PR(後)120/80-18 62P ●ブレーキ(前)油圧式ディスク(後)ドラム ●懸架方式(前)テレスコピック(後)スイグアーム ●緩衝方法(前)オイルダンパー+エア+コイルスプリング(後)オイルダンパー+コイルスプリング ●ホイールトラベル(前)225mm(後)190mm ●ヘッドランプ12V30/30W(ハロゲン) ●テールランプ12V5W ●ストップランプ12V21W ●フラッシャーランプ12V10W ●各種パイロットランプ類12V3.4W

体となつてのバタ足走行も増えてきます。そんな所で、最大限に威力を発揮するのが810mmの低シート高と左右51度という大きなハンドル切れ角です。しかもシートは、この低さにもかかわらず従来モデル同様のクッション厚を確保し、良好な乗り心地を保っています。

ダンピングアジャスター装備のリンク式モノクロスサスペンション

フロントフォークはセミエア式。大径36mmのインナーチューブを採用して剛性を高め、乗り心地とオフロードの走破性を向上させています。ストロークも225mmと十分。

一方、リヤにはリンク式のモノクロスサスペンションを装備。クッションユニットには5段階調整式のダンピングアジャスターを採用、さらに減衰力温度補正機構も備えて安定したサスペンション特性をつねに発揮します。

オフロード走破性にすぐれたニューバターンタイヤ

フロントには軽快なハンドリングを狙って2.75-21タイヤを、またリヤにはグリップ力のアップを図って120/80-18の超ワイドトレッドタイヤを装備。前後ともオフロードの走破性にすぐれたニューバターンです。

またリムは、高強度で薄肉のアルミリムを採用してバネ下重量を軽減させています。

オフロード専用フロント・ディスクブレーキ

フロントブレーキには、「DT200R」で信頼性の高い、軽量・コンパクトなオフロード専用設計のディスクブレーキを採用。泥の侵入や飛び石防止効果の高いディスクプレート付。

同時に、マスターシリンダーも、万一の転倒時等を考慮したコンパクトなオフロード専用タイプです。

ハードなマウンテン・ランで威力を発揮する前後のハンドル・スタンディング

7.6ℓ容量のスリムな燃料タンクとキー付タンクキャップ。セローのマークがマウンテン・トレールを印象づけます。

アルミ製のエンジンガードは、エンジンとの間にゴム板を狭み込んだ2重構造。特に大型にしてエンジン側面までガードしています。

機能重視の一体型リヤフェンダー

30W/30W大光量ハロゲンヘッドランプ

リヤアームマウントとしてロードクリアランスを確保したサイドスタンド

トレール市場に新ジャンルを拓く

マウンテントレール セロー225 新発売



セロー225の主な特徴

中 低速トルク重視の 225cc・4サイクル・単気筒

セロー225の4サイクル・単気筒・223ccエンジンは、20PS/8000rpmの最高出力と1.9kg-m/7000rpmの最大トルクを発揮します。

またこのエンジンは、定評ある「XT200」をベースとして、シンプルで軽量・コンパクトというトレールエンジンの条件を満たしながら、同時に中低速でのフラットでねばり強いトルクと十分なパワーを確保するために「225cc」というユニークな排気量に設定しているのが特徴です。

活 用範囲の広い セミ・オートデコン機構

キック始動装置には、ヤマハ独自のセミ・オートデコン機構を採用しています。

このセミ・オートデコンは、ケモノ道など不安定な路面でのキック始動に威力を発揮するばかりでなく、万一の転倒時で燃焼室内にガソリンを吸い込んでしまった際のガス抜きや、急な下り勾配でのエンジンブレーキのコントロールなど、きわめて活用範囲の広いマウンテントレール装備です。

ワイドレンジ6速ミッションと 大容量クラッチの採用

変速は6段。1～3速は、ケモノ道やトライアルランなど中低速走行にあわせ、また5～6速は通常走行やハイウェイ走行にあわせたギヤレシオ設定としています。

またクラッチも、ハードなマウンテントレールラン時の半クラッチの多用にあわせて、クラッチプレートを6枚にし、クラッチ容量を「XT200」よりも20%アップして耐久性を向上させています。

常に最適なポジションを確保できる フラットサイド・ダイヤモンド型フレーム

フレームは軽量・高剛性の高張力鋼管ダイヤモンド型。特にフットレストまわりをフラットなパネル構造として、両足くるぶしでのグリップ性を大幅に向上させています。

また、フットレストをピボットシャフト後方にセットしているのもセロー225の大きな特徴。これにより、オフロード走行の基本的な中腰姿勢ではトライアル車の、逆に通常の座姿勢では一般トレール車なみにゆったりとした、きわめてフレキシブルなライディングポジションが可能となっています。

2 輪・2足でさらに深く山奥へ。810mmの 低シート高と51度のハンドル切れ角

道なき自然に新たなワダチを刻んで進むマウンテントレールの世界。当然、ライダーとマシンが一



新市場を開拓するニューコンセプト セロー2225が拓く マウンテントレールの世界

年間4万台規模の安定した需要を保ちながら堅実に推移するトレール市場を、一気に活気づける「セロー2225」。新しいトレール市場を拓く、新しいコンセプト。それがセロー2225が拓くマウンテントレールの世界です。



ユーザーは「多趣味人間」
バイクは「アウトドア」
スポーツツール

ここ数年のトレール市場で最も顕著な傾向は、需要の主体が10代から20代に移行していること。また、代替需要が中心となり、代替サイクルも1・5・4年と長期化しつつあることです。

さらに、こうした需要年齢層の高まりにつれてテニス、サーフィン、スキーなどといった趣味・スポーツとあわせてトレールバイクを楽しむ人たちが目立って増えています。

いわば、最近のトレールユーザーは、アクティブな「多趣味人間」。彼らにとってのバイクは、アウトドアスポーツの「道具」であり、同時に日常生活の中で通学や通勤などコミュニケーションターとして幅広く使われる暮しの足でもあるのです。

しかし、こうした中であって主流を占めているのは、2サイクルスーパートレール、4サイクルトレール、トライアルなど、いずれもコンペティションの世界に通じるレーシーなモデルばかり。

そして、各モデルの高度化・レーシングテクノロジーの導入は、そのまま高性能化、高シフト高化、高価格化といった商品の尖鋭化につながり、結果として一般的なトレールユーザーのニーズとかけ離れてしまう傾向にあったのです。





2輪・2足で 一步深く自然の中へ

こうしたトレール市場に新登場するセロー225は、従来のようなモデルジャンルや排気量カテゴリーを超越し、トレールの原点に立ち返って、その真の楽しさを追求した、ニューコンセプト・トレールです。

トレールの真の楽しみ、いうまでもなくそれは大自然との触れあいであり、自然の中で自分の意志のままにバイクを操る楽しみです。

スーパートレールで林道を駆け抜けるだけの楽しみから、ケモノ道を通り森林の中へ一步深く入り込む。そこには、樹木や草花、野鳥や野性の小動物など大自然に生きるものたちとの出会いがあり、さらに光や風、雲、雨など大自然そのものとの語らいがあります。そんな未知の自然に接した時の新鮮なおどろき、これこそトレール・ライディングの最も本質的な楽しみでしょう。そして、もうひとつのトレールの真



髄は、自然の中で、自分の手足のようにマシンを操る楽しみです。
「走る、曲がる、止まる」といったモーターサイクルの基本機能に「登る、下る、ころぶ」といったトレールならではの基本機能をプラスした真のトレールマシンを、意志のままに乗りこなす楽しみで。



当然ハードな大自然の中ではマシンに頼るばかりでなくライダーの両足も立派なサブエンジンとして大活躍し、マン・マシン一体となって自然に溶け込む充足感を一層高めてくれること

まさに、2輪・2足で一步深く自然の中へ。そして流れる汗の爽快さを心ゆくまで堪能するさわやかなアウトドア・スポーツの世界。それが、セロー225が拓く「マウンテン・トレール」の世界に他ならないのです。225ccというユニークな排気量、トルキ



ーなエンジン特性、810mmの低いシート高、シンプルでライトな作り込み、そして充実したトレールラン装備……セロー225のすべては以上のようなニューコンセプトのもとにつくり上げられたものです。

林道をダイナミックに駆け抜けることで、オフロードの走りを極めたと思っているベテランたちに、全くちがったマウンテン・トレールの楽しさを広げるセロー225。

同時に、トレールの世界は立入りにくいと思われる多くの人々たちをスムーズにトレールの世界に導くセロー225。



ニューコンセプト・トレール、セロー225で、お店でもトレールの新市場開拓をどうぞ積極的にすすめてください。

一步深く山奥へ入ったセロー225の世界。当然そこでは、大自然を楽しむためのエチケットが求められます。動植物への思いやり、自然を汚さない心づかい、ハイカーや釣り人など他の人々への気配り……などマナーの厳守をお客さまにご指導ください。

※セロー225のニューコンセプトをお客さまにしっかりとご理解いただくために、ヤマハでは商品カタログに加えて、パンフレット『ウィルタネスへの招待状』(A3判4ツ折り)も用意しました。担当セールスマンにお問い合わせのうえ、どうぞご利用ください。

SEROW
MOUNTAIN TRAIL

「専門誌発表試乗会でも話題沸騰とっつ！」 新しい遊びの世界を広げるセロー225

マウンテン・トレール「セロー225」の発売に先がけて7月11日には、静岡県掛川市のつま恋で発表会が、翌12日には浜北市のトレールランド浜北で試乗会が、国内の二輪ジャーナリスト約60名を集めて開かれました。ここでも話題のマトは、新しい遊びの世界を広げるセロー225のニューコンセプト。そして、そのコンセプトを忠実に実現したセローの走りに、賞讃の声が集まっていました。そんな中から、4名のテストライダー氏のインプレッションをご紹介します。この日のレポートは、もっか発売中の各二輪専門誌に掲載されています。

オートバイ



**軽快なハンドリング
遊びを広げる最高のバイク・セロー225**
●オートバイ
竹沢正治氏

もしながらね。そして1人より数人で行った方がはるかに楽しいバイクです。乗車フィードバックは、ハンドリングがとて

いいバイクですね。セローのおかげで、これから「トレールラン」というのが、はやりますのではないですか。山の中を歩きまわるような遊び、これぞトレールランというカンジ。トレールランは、初心者からベテランまで、テクニクにあわせて、十分に楽しめますから。今は遊びを知らないライダーが多い。そんな人に遊びを教える最高のバイクですよ。セロー225は、どんなバイクですか。って聞かれたら、迷わず「トレールランに最高のバイクだ」っていいですね。林道の行き止まりまで行って、まだその奥の奥まで入って行って楽しめる、溪流釣りで

モーターサイクリスト



**ツーリングもケモノ道もあわせて楽しめる
これぞトレールの原点**
●モーターサイクリスト
服部久志氏

舗装路、ダートからトレールコース、ロックセクションまでいろんな所をセロー225で走ってみました。トレールコースでの一番の印象は「軽さ」。乗り味の軽快さです。データでは（車重

も軽快。これまでのトレールは、どちらかというと直進安定性重視みたいところがあつたけど、セローは超低速の登り坂で木の根や枝などがでるところでもヒラヒラ避けながらいけるほどなんです。それに、ウインカーやランプなどが、ケモノ道での運転でも少しもジャマにならないのもいいですね。転んでも壊れる所が少なく

が100kgを越えていたんで（実際は102kg）あまり奥までは行けないかな？と思っただけですけど、とんでもない。重さはまるで感じられないんです。パワーとウエイトの



バランスがいいから、乗り味が軽快なんです。それと、エンジンのグリップがいいのにもビックリしました。

一般路を走っていても感じたことは、ハンドルの座わりがいいこと。よく一般路を走っているとハンドルが軽すぎて、落ちつかないトレールバイクが多いんですが、そんなイヤな感じがまるでないからツーリングがとっても楽しいですね。

「トレールの原点に返って」という開発意図は、そんな所からも十分理解できますね。ツーリングが楽しめて、林道も走れて、ケモノ道にも入ってみよう、山にも登ってみよう、そんな気持ちにさせてくれるのがトレールバイクですからね。セロー225は、まさにそんなバイクです。ケモノ道へ行くバイクじゃない。ツーリングも楽しめ、ケモノ道にも入って行けるバイクなんです。多くのユーザーに、ぜひそんな風に乗し込んで欲しいですね。



ヤマハ技術陣の開発コンセプト紹介、技術説明に熱心な質問がとびかうセロー225発表会



グリップのすばらしいエンジンで “2輪・2足”の威力発揮

●ベストバイク

万沢康夫氏

ベストバイク



軽い、低いシート、ちょうど良いサイズ、乗り手のいうことを聞いてくれそうなバイクだな……というのが、セロー225に試乗しての第一印象です。

エンジンもトルクがあって乗りやすい。とてもグリップがいいんです。

例えば、急な登りの途中に溝があったりすると、ハンドル取られちゃいけない、と思わずスピードを落しちゃうでしょう。アクセルを開けなくては登れないからまたアクセルを開ける。今までのバイクだと、開けた瞬間にスピンして結局とまっちゃうんです。

セローはそれがない。回転がすごく落ちたところでもしっかりとグリップしている。だから両足をつけてバタ足でやれば、簡単に登れる。“2輪・2足”とは、よく言ったもので、まさにそのとおりです。

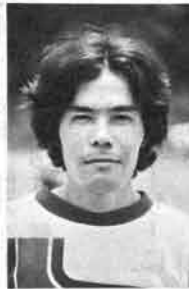
ポジションもいいですよ。ステップがかなり後ろなのでスタンディングのポジションか



らハンドルが自然に握れる。窮屈じゃありませんしね。それでいて、トライアル・マシンのようにフロントが浮きやすくない。トレールバイクとして、ぴったりのポジションと言えるでしょう。

自然を楽しむエチケットをわきまえ、マナーをしっかりと守りながら、楽しんで欲しいですね。

ロードライダー



●ロードライダー
どんな山奥でもどこにいく、行ってみようって気持ちにさせる！

ません。

エンジンもそう。これまでのトレール車のように半クラッチで回転を上げながらでなければ急勾配を登れないなんてことがまずない。本当にコントロールしやすいフラットな中低速だからとても扱いやすいんですね。

初めてセロー225を目にした時は、小ぶりで頼りな気に見えたんです。でも、いきなりケモノ道に入ってしまったら、大きすぎず小さすぎず、ちょうどいいサイズなんでびっくりしました。

今までのトレールバイクだと林道を走っていて、ちよつと脇道に入ってみようかな、と思っても車体が大きいし、ハンドルもあまり切れないんで、ついいためらってしまう。でもセローならそんなことは、まったくあり



広瀬達也氏

だから山の奥へでも、行けるか、行けないか。なんて考える前に、とりあえず行ってみよう。つていう気分になる。ダメだったら引き返せばいい。車体はコンパクトなうえにハンドルスタンディングなどもあって、方向転換もじつに簡単ですね。

●伝えようトレールの魅力、広げようセローの楽しさ



↑この日ばかりは、お客さまの立場で指導を受ける参加販売店のみなさん

←ヤマハライダーが、基本テクニックを指導



お客さまを楽しく、安全に トレールの世界に導くオフロードYRSの 自店開催めざして体験研修会開催！

草に覆れた河原の堤を初めてバイクで駆け登った時の新鮮な感動——乗ってみて初めてその楽しさを発見できる、それがトレールの世界です。それだけにセロー225の拡販、セローによる新需要開拓に「試乗」は不可欠の要素。中でもオフロード未経験のお客さまを、楽しく安全にトレールの世界に導くオフロードYRSは、最も効果的な活動といえるでしょう。

●まずロードスポーツユーザーに トレールの楽しさを！

そうした中で、去る7月17日には、ヤマハ九州安全普及課が、オフロードスポーツの販売にひととき積極的な福岡、佐賀、長崎、大分の販売店・21店さんの参加を得て、星野トレールランドで「オフロードYRS体験研修会」を開催しました。

お客さまの多くの眼がロードスポーツに集中し、ともすれば沈滞気味なトレール市場をニューコンセプトバイク「セロー225」で一気に活性化しよう。

その手始めとして、ロードスポーツユーザーにオフロードの楽しさを知らせ、代替・増

車需要の開拓をはかろう。

そして、それにはなんとといっても各販売店さん自店開催の「オフロードYRS」が第一歩……ということから、この体験研修会の開催となったのです。

会場に到着と同時に、申込み用紙の記入のし方、準備体操そして初級コース実習と、当日は自店開催のためのノウハウの修得という目的に沿ってすべてのカリキュラムが進行。開催要領や指導方法のマスターに、参加された販売店のみなさんは、真剣な表情で取り組んでいました。そんな、みなさんの声をご紹介します。

●家族ぐるみで楽しめるような オフ・ロードYRSを



「極端な話、ロードスポーツは放っておいても売れるんですが、トレールは

遊び方、遊ぶ場所、乗り方テクニックと完全にフォローしていく必要があるんですね。こうした活動をつねに続けていかないと下降してしまう。

店の隣りに約100坪の土地があり、トライアルコースを作ってお客さんに楽しんでもらっていますが、今後はここで家族づれが楽しめるような独自のオフロードYRSを開いていきたいと考えているんです。

そして、アタルトの新規トレールユーザーとロードスポーツしか乗らないヤングに、トレールの魅力を伝えていきたいと思っています」とは、佐賀県からDT200Rで駆けつけた宮本好己社長（鳥栖マツハ1/佐賀県）



改めてトレールの楽しさを発見された社長さんも



● ツーリング途中でのミニYRS
で楽しみながら知るオフの魅力



「うちは90%がロードスポーツのお客さま。彼らにトレールの楽しさを教えたと思って参加しました。ツーリングの途中で、ミニオフロード

YRSを行ない、遊びながらオフの魅力を知ってもらえれば、と思っっているんです。どうしても、オフというイメージが、ハード、泥んこ、きたない……となっちゃうんですけど、本当のトレールラシは、親しみやすいし、爽快なんだということを伝えたいですね」

スタッフの広末義弘さん(右)と、お2人で参加した馬場直人社長(左) YSP豊前/福岡県

● オン・オフ合わせて
楽しむ人を増やしたい



「オン、オフ両方のお客さまと一緒にツーリングに行くんですよ、よく、山の上の方に行つてオフロードがあるとトレールのお客さんは楽し

そうに奥に入って行き、ロードスポーツの人は彼らが戻ってくるまで待っているんです。それをうらやまして、トレールに乗りかえる人が増え、いまではオン・オフ半々。店の裏山に作った300坪のコースを使つて、ヤンクにオフの楽しさを伝え、オン・オフ合わせて楽しむ人を増やしたいと思っています。強力なスタッフ・息子さんの剛志君(左)と一緒に参加した加藤剛磨社長(加藤モータース/福岡県)

●伝えようトレールの魅力、広げようセローの楽しさ

バイク未踏の地を走る「アタック会」で トレールファンを拡大!

●アサヒモーター(青森県)成田郁久社長

オフロードYRSとならぶもうひとつのトレール市場開拓策は、もちろん実際のトレールラン活動。自由気ままに山野を駆けめぐるマウンテン・トレールのだいご味を、お客さまご自身に体験していただくことです。

本州最北端の都市・青森でスポーツバイクの拡販に取り組む「アサヒモーター」さんは、身近かに広がる豊かな自然を利用して、12年も前からトレールランを実施。これにより10代のヤングから50代のアダルトライダーまで、きわめて幅広いトレールユーザーを獲得しています。



バイク未踏の地を走り、山頂を極めた時の爽快感は、なにものにも代えがたいという「青森クルッベ」のみなさん。前列ランニング姿が成田社長



トレールランから帰った後は、一度解散してから再度「アサヒモーター」さんの2階に集合。ビデオを囲んでにぎやかな反省会

「アタック会」する満足感がお客さまの心を掴む

「アサヒモーター」さんのトレールランを支えているのは成田社長とお店のクラブ「青森クルッベ」のみなさん。バイク未踏の地を走るこの走行会を「アタック会」[※]、体力テスト[※]などと呼びながら、年3回の恒例行事として続けています。

このトレールランの舞台となっているのは青森市街からバイクで30分ほど走った八甲田山。大小さまざまな山が連なり、林道や登山道が多く、初心者からベテランまで楽しめるまさにトレールランにうってつけの場所です。走行会の開催にあたって、まずしなければならぬのはコースの決定。道なき道をはるのトレールランの醍醐味だけに、安全に走り切るためには入念な下調べが必要です。まず、2万5千分の1の地図で林道を走る大まかなコースを決め、つぎに成田社長とクラブ員のお客さま数人が予定のコースを実走します。林道が途切れた場所から先が、アタック会の本領発揮。地図にも載らないこのバイク未踏の地こそが走行会の成否を決定する大切な要素となるために、この部分の下調べは一段と慎重に行なわれています。

「あまり簡単なコースを設定しないことがトレールランのポイントです。ある程度の難易



「アサヒモーター」さんは、店頭にもトレールムードがいっぱい



度があつてこそ、初めてライダーの征服感が満たされるからです。ウチの走行会はそれこそバイクを担いで登るような場所もあります。それでもみんなワイワイやりながら追ってきますよ。それと守らなければいけないのは、少人数では絶対に走らない」ということです。山には思わぬ危険も多いので、何かあったために人数はある程度そろっていた方が安全なのです」と成田社長。

ビデオで再現して新規ファンを開拓!

そして当日、悪条件をみんなで克服するのもトレールランの楽しみのひとつ」という理由から、天候には関係なく出発します。

この時に成田社長が必ず携帯するのがビデオカメラ。参加したお客さまへのサービスとして走行シーンを納めていますが、これがトレールランの普及にも大いに役立っているのです。

「店の活動記録として店内で放映しているのですが、これが意外に効果的な訴求ツールになるんです。一度もトレールランを経験したことのないお客さんが何気なくビデオを見はじめますが、急坂を登るシーンや転倒しているシーンなんかを見ているうちに、自分で走っているような気持ちになってくるんじゃないかな。」

お客さんの目の色が変わってくるのが判るんですよ。そのうちに、「こんな場所も走れるのか?」こんなところはどうかやって登るのか?」とか、いろいろと質問が出てくる。そんな時に、今度は何月何日にやるよ、なんて言うのと、必ずつれて行ってほしいと返ってくるわけです。60才近くの人も一緒に走って走っているのです。そんなシーンを見ていると自分でも出来ると思うんじゃないかな。」

これと同時に、「アサヒモーター」さんでは、DTやAG200などのトレールバイクとオフロード用品をトータルコーディネート展示したオフロードコーナーを店頭に設けて、トレールムードを盛り上げています。

こうして「アサヒモーター」さんでは、バイクシーズンも限られた、みちのく青森で着実にトレールファンを増やしつづけています。

道路交通法が変わります!

お客さまに、しっかりとご説明ください

1. スクーターや原付運転者のヘルメット着用が
“努力義務”から“義務”になります。

2. 大きな交差点では、スクーターや原付車も軽車両と同じ
“二段階右折”になります。

3. 自動二輪免許取得1年未満のライダーの“2人乗りが禁止”されます。

4. まわりの人に迷惑を及ぼす騒音を発して走行すると行政処分点が増えられます。

●原付の安全確保強化へ

ご承知のとおり先の国会で道路交通法の一部が改正されました。

今回の改正では4輪ドライバーに対するシートベルトの着用義務規定がともすれば大きくクローズアップされがちでしたが、実はそれ以上に近年増加傾向を続けている2輪車事故に対する安全対策に重点が置かれているのです。とりわけ、日常生活の中に完全に溶け込んだ存在となった原付車に対する安全思想が強く打ち出された点が特徴と言えるでしょう。

つまり生活道路で頻繁に活用される機会の多い原付車と、そのユーザーの安全を法規面からより強力に確保しようというものです。同時にそうした地域のユーザーの方がたに、改正道交法の理解を深めて安全にお乗りいただくため、最も密接な関係にある販売店のみなさまの今後のご指導が、非常に重要な役割

を果たすものと多くの期待が寄せられているのです。

●原付運転者に対する改正点

これまで、原付運転者に対するヘルメットの着用規定は「努めてかぶるようにしよう



う」という努力義務規定だったわけですが、今回の改正によって、「原付運転者もヘルメットを着用して運転しなければならない」ことになりました。ヘルメット着用義務が実際に施行されるのは、昭和61年7月1日から。公布から施行までの1年間の猶予期間は、ヘルメット・パニックを避けるために設けられた準備期間なのです。(行政処分点1点)

原付運転者にとって密接に関係したもうひとつの改正点は、「二段階右折」です。これまで原付車の右折は、自動車と同じ方法で行なわれていましたが、幅の広い道路の交差点を右折しようとする場合は、道路の中央に寄らなければならず、きわめて危険の多いものでした。

そんな原付車を保護しようと、一定の広さの交差点における原付車の右折方法は、自転車など軽車両と同様に、交差点の縁に沿って徐行して直進し、交差点の向かい側に渡って向きを変え、さらに対面する信号にしたがっ



道路交通法の一部改正にともない、原付運転者、自動2輪運転者それぞれに新たな規定が付け加えられています。ここに改正点の内容と、そこに至る背景をご紹介します。関係するお客さまへのご説明と店頭での指導を、よろしくおねがいいたします——



て進行する「二段階」方式になるわけです。
●道路標識等で指定された交差点
●片側3車線以上の車両通行帯がある交差点

の2種類の交差点で、しかも信号機等によって交通整理の行なわれている交差点においてこの「二段階右折」が適用されることになっていきます。施行は昭和61年1月1日から（行政処分点1点、反則金20000円）

●自動2輪に関する改正点

さて、自動2輪車に関する改正点では、免許取得後1年未満の運転者による2人乗り禁止があります。施行は、今年の9月1日から。（行政処分点1点、反則金40000円）



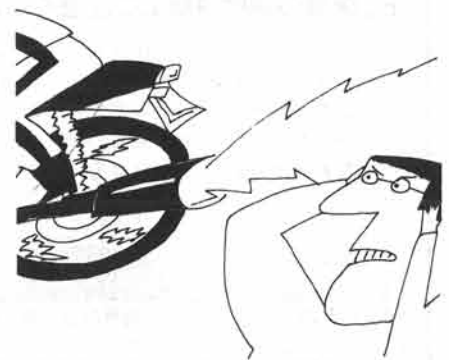
こうした規定が新たに決められたのは、増加傾向にある2輪車事故の多くを、免許取得1年未満の運転者が占めているという統計的事実があるからにはかなりません。

もうひとつの自動2輪関係の改正点は「著しく他人に迷惑を及ぼす騒音を発する急発進、急加速、空吹かしの禁止」です。

これは機器による計測を行わなくても、通常人の感覚で騒音の排出を禁止するもの。ただし、外観上の明確性を持たせるために、急発進、急加速、空吹かしの3つの行為に当てはまる場合に限っています。

施行は、今月の9月1日から。（行政処分点1点）

皆さまのお店から、取り締まりの対象となるお客さまを生み出さないような努力もして



ただかなければなりません。それ以上に、この騒音問題は、これまで皆さま方のご努力によって積み上げられてきた2輪車の社会的立場を、悪化させてしまう結果にもなりかねません。「騒音走行禁止」規定が生まれてしまった背景の反省の上に立って、2輪車業界は、業界全体で可能な範囲で、こうした問題を真剣に考えて行く必要があるといえるでしょう。

●進む2輪車の安全確保

今回の道交法一部改正が、2輪車安全対策に焦点が置かれていた理由は、何と言っても2輪車人口の急増と、それに伴う2輪車事故の増加傾向によるものです。しかも、単純計算で2年後には、4輪車対2輪車の保有台数の割合が、2対1にもなると予想されています。そのため、交通安全対策が、これまでのように4輪車中心では対応できなくなってきた結果であるといえます。

国会会で道交法改正を審議した交通安全対策特別委員会では今回の法改正とは別に、2輪車の安全対策として「2輪車専用レーン」「二段停止線」の増設を推進することを確認するなど、さらに色々な2輪車の安全確保を進めています。

今回の法改正と合わせて、こうした施策が2輪車事故防止のためにさらに大きな効果を発揮してくれることでしょう。



Y.E.S.S.スタッフになれば、住友海上火災の交通事故傷害保険に自動的に加入されます。実際には、Y.E.S.S.スタッフカードにその保険が付与されているものですが、その内容について正しくご理解いただくために、ここであらためてご説明いたしましょう。

正しい知識のもとにお客さまにわかりやすい説明をどうぞ。 Y.E.S.S. スタッフ保険



1. 保険の適用範囲を確認してください。

Y.E.S.S.スタッフ保険は、交通事故傷害保険です。その対象は、交通事故による死亡および後遺障害にのみ限られ、保険金は最高100万円を限度として支払われます。

但し、無免許、酒酔い運転、保険期間外、レース中などの事故の場合は対象外となり、また通院、入院などの保障は受けられませんので、くれぐれもお客さまにこの点をアピールして安全運転指導を心がけてください。

2. 保険の適用時期にご注意ください。

Y.E.S.S.スタッフ保険の手続きは、以下の流れで行なわれます。また、保険の適用は、その手続きが行なわれた翌月の1日より有効となります。お客さまが事故を起された際、トラブルがありがちなのがこの適用期間の思い違いですので、スタッフになられたお客さまにはくれぐれもこのところを正しくご説明してください。



3. 事故報告はすみやかにお願いします。

Y.E.S.S.スタッフが事故を起した際は、まず警察に連絡をとり、事故の処理を行なってください。その後、すみやかに担当区の住友海上火災へご連絡ください。住友海上火災への事故報告は、事故発生より30日以内の場合にのみ、保険が適用されますので、くれぐれもお早目に処理されるようお願いいたします。

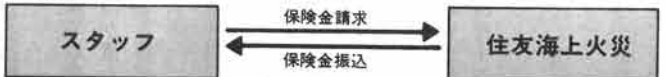
●保険金請求に必要な書類

- (1)保険金請求書(兼)支払指図書
 - (2)スタッフカード
 - (3)後遺障害診断書(後遺障害の場合)
 - (4)交通事故証明書
- ※死亡事故の場合は、必要書類が追加されます。

●事故の際の連絡および書類の流れ



●支払方法



4. オプション保険も用意されています。

Y.E.S.S.では、上記のY.E.S.S.スタッフ保険のほかに、オプションの保険も用意しました。

このオプション保険は、通常の交通事故傷害保険です。Y.E.S.S.加盟ショップさまではお申込みできません(任意保険取扱有資格店はその限りでない)ので、お申込みにつきましては直接、住友海上火災の営業所にお問合せください。

※なおY.E.S.S.加盟ショップさまにおきましては、この9月に住友海上火災の営業担当者がこれらの保険についてご説明にうかがう予定になっています。詳しくはその際におたずねください。

YAMAHA RACING SPIRIT

シリーズ5

証言で綴るヤマハ挑戦の記録

モトクロス時代の幕開け ヤマハ、オン・オフ両部門を制す。



第1回モトクロス日本GP125ccクラス2位入賞など、'60年代前半から大活躍した荒井市次選手

モトクロス活動の開始

'60年代に入って本格化したロードレース界で、ヤマハはより強力な体制を組み、ヨーロッパ、そして日本国内で数々のイベントを制覇してきた。こうしたヤマハのロードレース部門の充実とともに、一方ではモトクロス部門での強化が行われ始めようとしていた。ヤマハ創立当時からライダーとして活躍してきた野口種晴選手が'61年に現役を退き、'62年から有能なモトクロスライダーの発掘と育成という立場で、チームの一翼を担うこととなった。ヤマハのモトクロスに対する本格的な取り組みはここから始まった。

変わらぬ

“絶対必勝”の構え

ところで実際に、組織的なモトクロスが行なわれたのは'59年2月、埼玉県朝霞での「第1回スクランブルレース」だった。参加台数は延べ80台、観客1千人というもの。富士登山や浅間火山レースも確かにオフロードのレースではあったが、名実ともにモトクロスと呼べるレースはこの時からであった。'60年代に入ってさらに急成長を見せていた



ヤマハとの契約直前に受け取ったというYDS1改に乗って見事1位に輝いた田沢選手の力走。'63年

日本の二輪業界に、国際モーターサイクリスト連盟(FIM)の公認団体として、現在のMFJにあたる日本モーターサイクリス協会が発足したのが、'61年のことであった。しかし、'63年に至るまでシリーズ化されたレースや日本GPなど、本格的なレースは行なわれず、'64年(昭和39年)になってようやく大島火山レース、鈴鹿18時間耐久ロードレース、羽咋シーサイドレースなどのアマチュアを主体とした、たぐさんのイベントが開催された。第1回目のモトクロス日本GPもこの年から。場所は群馬県相馬ヶ原。スタートはエンジンを始動させてからスタートする「キックスタート式」だった。結果は50ccクラスで5位に三吉一行、125ccクラスでは2位荒井市次、3位三吉、4位田沢弘道、250ccクラスでは3位荒井、4位久木留博之、251cc以上では1位三室恵義、2位久木留博之などがヤマハの選手として活躍した。「当時はまだ本格的なモトクロスサーなどなく、ロードレーサーの分野よりもはるかにヨーロッパに立遅れていました。YDSやYA6などの市販車をベースにしたものばかり



'64年、試作のバイフレームで武装したYA6改。左から③田沢弘道、②加藤清丸、④鈴木忠男の各選手

でイギリスのグリーンブスなどを研究材料としてテストしたことを覚えています」
野口氏に見出されて、'62年にヤマハ入りした田沢弘道氏(自営業45歳)は思い出しながらこう続ける。

「当時のヤマハは、絶対に勝つぞというムードで満ちみちていました。たとえばライダーひとりに対してメカニックを2人つけるなどしていましたがね。本当にありがたいと思うと同時に、もうこれは無言のプレッシャーになりました」

ヤマハは'55年(昭和30年)の創立以来、企業として大規模化をすすめるながらも、レースに対する姿勢を変えなかつた。ひたすらレースに勝つことが至上の目的であった。しかし、ライダーに対する気くばりや思いやりも相当なものであったと田沢氏は続ける。

「ヤマグチからヤマハに移る直前に、とりあえずレースということでYDS1改に乗せてもらったんです。私はまだその段階では契約を済ませていなかったから、練習マシンしか乗れなかったわけですが、野口さんがフェンダーに書いてある「練習車」という文字を消

してくれたいです。パーツにしても最善のもの、ということでもまだ使えそうなものでも敢えて新品にしてくれました。そういえば他メーカーのライダーはトラックに乗って現地入りするところを、ヤマハは飛行機と乗用車を使う、という気くばりでした。やはり監督やメカニックたちは、選手を宝のように思ってくれていたのでしょう。今でもそんなやさしさが心に強く残っています」



現在は自営業を営む
田沢弘道氏

田沢氏と一緒にヤマハ入りした山本俊彦氏（YSP 藤沢社長・43歳）は当時、乗り始めたから止まらないという強者で、YDS2にTD1のシリンドラーを載せたYDS2改で活躍。彼も野口氏に見出された1人だ。山本氏はその時のことを熱く語る。

「YDSにTD1のパーツでしょ。それはすごいパワーでスピードののりはピカイチでしたね。マシンの色は黒。みんな「カラス」と呼んでいました。私にとつて一番良かったことは、レースで人生の厳しさを知り、そして人に対する礼儀というものを身につけることができたことです。われわれ選手に対するチームの心づかいは技術の人やメカニック、そして監督にまでおよび、その分だけライダーとして、人間として甘えられませんでした。それが礼儀だと思ったからです」



YSP 藤沢店など3店を
営む山本俊彦氏

浅間火山レースの強化合宿で、川上社長が直々に選手達へ「先に風呂に入りなさい」と

鈴木忠男の時代

「とにかくヤマハに乗っていて負ける気などしなかったですね。オレが先頭で、みんな後からついて来て、という気持ちでした。ボクにしてみればYDSが何気筒だろうとかまわなかった。パワーがあつて、スピードをつけてコーナーを回ると自然にカウンターのあてたりして、それから、逆ハンの忠さん、ていられるようになりました」

山本氏は、ヤマハのメインライダーが荒井三吉の時代から、やがて鈴木忠男の時代へ移りつつあったことを含めてこう結んだ。



SP忠男のブランドも確
立させた鈴木忠男氏

鈴木選手が目立ってきたのは'65年から'66年にかけてだった。そもそも当時のレース界は鈴鹿サーキットができた後でも、オンとオフを明確に区分してレースをやっていたわけではなく、鈴木選手自身も'64年に、鈴鹿18時間耐久ロードレースにYDS2でエントリーして13位という成績を残している。しかし、彼自身は断然オフロードの方が好きで、結局モトクロスの世界へ飛び込んだ一人だった。まさに天職と呼ぶにふさわしく、彼はモトクロスライダーとして波に乗り始めた。そしていよいよ「2気筒のカラス」から「単気

東北選手権に遠征し、YA6を駆りワン・ツー・スリーを
きめた前列左から三吉、田沢、鈴木、ヤマハトリオ

'65年3月、富士裾野でのテストに集まったヤマハラ
イダーたち。左から三宝、一人おいて本橋、田沢、
一人おいて笹田、久木留の各選手



「レースは、テスト走行もなしにいきなり本番。しかし、少し走り始めたとき「このYX26ならいける」と思いましたね。結果はもちろん1位。もう勝って当たり前という気分でした」

鈴木氏はつい昨日の日のことのようにYX26のことを思いだす。

'65年に世界GP250ccクラスにおいて、2年連続メーカーチャンピオンを獲得したヤマハは、'66年でも世界選手権マン島TTレー

ス125ccクラスで優勝し、(2年連続)世界選手権日本GPレースで125cc、250cc、350ccの3クラスを制覇し、まさしくロードレース部門では、むかうところ敵なしの時代でもあった。

そして、ここに2サイクル単気筒の本格的オフロードマシンが日本GPに勝ち、オン・オフ

モトクロスを一変させたDT1の登場

時代は変わりつつあった。ただ速く走るためのモーターサイクルではなく、よりのを絞った「気楽に楽しめる商品」を時代は求めていた。そこでヤマハの技術陣は、巨大なモーターサイクル市場であるアメリカへ渡り、今何が望まれているのかを徹底的に研究した。

フの両面において、「レースのヤマハ」を実証したのだ。

しかし、YX26の試作モデルの完成は、単なる技術的側面での集大成にすぎず、まだまだ一般消費者の手に届けられる「魅力ある商品」にまでは到達していなかった。

その結果、既存のカテゴリーにとられず、モトクロスに使い、ストリートスクランブラーとして走れ、トライアルとしても有能なスーパーオフローダーとしてDT1を発表した。コンパクトで軽量(250で112kg)な車体には2ストローク250cc単気筒エンジン

を搭載。道なき道でも自在に走りまわられる、というトレールランの究極を目指したそのコンセプトはアメリカのオフロードファンを熱狂させるのに充分だった。

もちろんその成果は日本にもすぐにあらわれた。まとものあるルックス(通産省のグッドデザイン賞受賞)とリヤの4・00-18という当時としては極太のタイヤが多くの若者の心をとらえた。

DT1はヤマハの単なるヒット商品にとどまらなかった。徐々に成長拡大しつつあったモトクロススポーツの普及に非常に大きな影響をもたらした。

YX26とDT1を鈴木氏はこう懐かしむ。「とにかくYX26ときたら、粘り強くて、す



'69年。ヤマハが国内レースに全戦出場を決定。DT1を駆る鈴木忠男選手が250ccクラスのチャンピオンを獲得



鈴木秀明選手(左側)が頭角をあらわしてきた70年。中央が鈴木忠男、右は矢島金次郎選手

ヤマハトレールDT1がこうして誕生するまでには長く辛い苦労と失敗があった。DT1は単なる偶然の産物ではなく、富士登山の時代から連続と続く「あくなき勝利への道」から生まれてきたヤマハ・レーシング・スピリットを織り込んで、生まれるべくして生まれたマシンであった。

選手たちには暖かく、やさしく、しかし、マシンの開発にはあくまでも冷静に、というヤマハのスピリットは、こうして来たるべき黄金の70年代へと受け継がれようとしていたのである。

全国にはモトクロス場(のちにヤマハトレールランドという名称が与えられる)が続々と増え始め、折からのDT1ブームとの相乗効果で、「より多くの人が気楽に楽しめるモータースポーツ」——モトクロス——が深く根をおろすこととなった。

各界専門誌編集長が語る当世若者気質

Magazine & Magazine

Part. 8



Monthly Windsurfing Press
ウインドフラッシュ
Windflash
編集長 高城 和彦氏

『ウインドフラッシュ』
(発行)(株)山と溪谷社
(創刊)1983年4月に創刊。通巻28号(’85年8月号)。毎月1日発行。発行部数は公称85,000部。
(読者層)23-25歳のヤングサラリーマンを中心とした独身貴族が主体。学生・社会人の比率は4:6で、ユーザー層とも一致している。
(編集方針)ビギナーにウエイトを置いたウインドサーフィンの専門誌ではあるが、最新情報を盛り込んでプロクラスまで満足させる編集を心がけている。カラーページを半分以上採用し、ヴィジュアルな誌面作りに力を入れている。
(編集内容)ハウツー、用品、ガイド、テクニックを4本柱として構成。夏はよりビギナー向きに、逆に冬はよりマニア向けの内容を盛り込んでいる。
(編集長プロフィール)鎌倉書房に入社、男性誌『サンジャック』の編集に3年間従事。1981年に退社すると同時に平凡出版(現・マガジンハウス)の『オーブ』編集部で活躍。翌1982年に編集プロダクション『メディアマジック』を設立し、1983年より『ウインドフラッシュ』(山と溪谷社・刊)および『サイクルワールド』(CBSソニー出版・刊)の編集を担当する。1952年1月10日生まれ。血液型A型。

ウインドサーフィンといえば、サーフボードにヨットの帆を立てたニューフィーリング・スポーツ。その感覚は、ヨットとバイクとサーフィンを合わせたようなものだとわれている。実は、これが今、若者の間で大ブームを呼んでいるのだが、さてこのブームの行方はどうか……。今回は、このウインドサーフィンの専門誌として人気の高い『ウインドフラッシュ』の高城編集長にインタビューした。

リッチとブアーの間

まず、ウインドサーフィンというスポーツからご説明いただけますか？

「いやあ、それはボクもやって初めて知ったのですが、これが凄い。自分が何もしないで海の上をスーッと滑る感じなんですよね。風が動かしていく、その風は感覚に自分の

感覚をどれぐらいマッチさせていけるかどうかが、このウインドサーフィンでは問題であり、そこが他のどのスポーツとも違う点でしょうね」

サーフィンとも全然違うんですか？

「全然違います。ボードにマストをジョイントさせてセイルで波の上を滑るこのウインドサーフィンは、1969年にアメリカのコンピュータ技術が発明。たったの10年間で世

界中に広がったんです。短期間にこれだけ成長したスポーツというのは他に例がない。つまり、それほどの大発明なんですよ、ウインドサーフィンというスポーツは」

どのぐらい普及しているんでしょう。

「仕事柄、よくヨーロッパに行くんですが、ヨーロッパでの普及率が凄いですね。パカンスの季節にもなると、もう南の海岸に向かうクルマの屋根には必ずウインドサーフィンが積まれているほど。まさに、一家に一台ウインドサーフィンという構図なんです」

どこのそんなに人気が高いと？

「ひとつは、やはりウインドサーフィンは新しい感覚のスポーツだからだと思います。そして、このフィーリングが今の時代に合っている。」

それと、もうひとつはイメージの問題でしょうか。つまりヨットほどリッチではないけど、サーフィンほどブアーでもない。それでいて経済的にも負担が少ない点です。

さらに、これが一番大きい要素といえるんですが、それなりのフィーリングといえますか、上手、下手にかかわらず楽しめるスポーツであること。この辺はスキーやテニスなんかとも似ている点ですよ」

サーフィンのイメージはブアーなんです。ブアーというか、ハングリーというか、あのハワイのサーフィン映画なんか見えていますと、凄いな波にハイテクニクで挑むサーファの姿は現世的ではありませんか？

日本でもそうだけど、どこか人間が違うという印象がある。つまり、仕事を捨てても波と太陽に狂ってしまうといったイメージがありますからね」

そういう意味ではウインドサーフィンの

『80年代のブーアマジじゃないか』と思いませんか？

「同好会意識と中産階級意識」といふのが

「ブアー」というか、ハングリーというか、あのハワイのサーフィン映画なんか見えていますと、凄いな波にハイテクニクで挑むサーファの姿は現世的ではありませんか？

日本でもそうだけど、どこか人間が違うという印象がある。つまり、仕事を捨てても波と太陽に狂ってしまうといったイメージがありますからね」

そういう意味ではウインドサーフィンの

「ブアー」というか、ハングリーというか、あのハワイのサーフィン映画なんか見えていますと、凄いな波にハイテクニクで挑むサーファの姿は現世的ではありませんか？

日本でもそうだけど、どこか人間が違うという印象がある。つまり、仕事を捨てても波と太陽に狂ってしまうといったイメージがありますからね」

そういう意味ではウインドサーフィンの





入された時はおかしかった。最初、このスポーツはヨットと同じ系列というが、ヨットのルートを通じてその活動基盤であるフリートを中心に普及していったわけです。それで楽しみ方もヨットのなコースレースが主だった。それが今では、ファンボードというサーフィンのなカテゴリーに人気に移り、普及率も急上昇。サークルや同好会といった感覚で広がったこのスポーツが、いまある同好会世代的の支持を受けてさらにグリーンと普及していったんです。

——どうしてヨットのルートでは駄目だったのでしょうか。

「ヨットの世界は封建的であり、新しいものを受け入れる感覚を持ち合わせていなかったんです。で、ヨットの方法論をウインドサーフィンにも押しつけたわけですが、それが今のヤングに拒否されたというわけです」

——押しつけをいやがる現代の若者の傾向が見事に表われていますね。

「ええ。それとこのスポーツはどちらかとい

うと中産階級のなんですよ。つまり、イメージでいえば、音楽なら山下達郎、クルマならBMW、ファッションでいうならイタリアンカジュアルという感じ。少し前に日本人の意識調査のデータが発表されましたが、80%の人が自分が中産階級だと思っているといっていた。そのテッペンにあるのが25歳位のサラリーマンだったんですが、まさにウインドサーフィンのユーザーとオーバーラップしているんです」

——同好会的な意識と中産階級の意識が結びついたところにウインドサーフィンの人気の秘密があるといえそうですね。

「少しリッチで、少しスポーツ——これこそ同好会フィーリングそのものですね。

急成長を裏付けるソフト開発

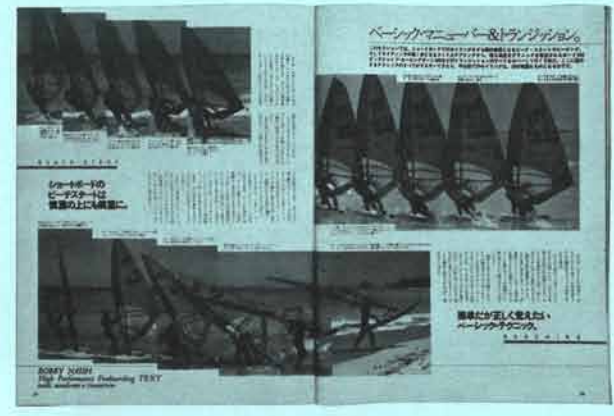
——お話をうかがっていると、ウインドサーフィンはヘルシーで中産階級の、フィーリングがあつてそれなりに楽しめるといって、近頃的话题を全部網羅していますよね。これで、人気が高まらないわけがない。

「ええ、それにまだあるんですよ。これはもつと影響力が大きいんじゃないかと思えます

——とくに女性の場合は、そういうフィーリングに弱い。「アン・アン」風といいますが、イメージでいえば青い海と白いシーサイドテラス、そんな中でのヘルシーなスポーツ。男の人はクルーカットのサラリーマンで、ちょっとカッコイイ外車なんかに乗っている、なんてシーンには、すぐズルズルって影響されちゃうんですから」

——だいたいウインドサーフィンのユーザー動向は理解できましたが、さて、5年後のウインドサーフィン市場を見通してみると、どうなりますか？

「ご存知ないかもしれませんが、ウインドサーフィンはすでに中古市場もあるんですよ。バイクなんかと同じにネッ。それに、海岸の方も地域の整備がどんどん進行していて、ソフトの開発がめざましい勢いで進んでいる。



つまり、シーサイドハウスとか、ホテルやレストラン、さらにウインドサーフィンを預かる保管施設や初心者のためのスクールのたぐいが、急速に充実されつつある。ヨーロッパの状況から考えると、あと5年もすればいまのスキーぐらいのマス・スポーツになるのではないでしようか」

——5年後には若い人の2人に1人はウインドサーフィンを楽しんでいるというわけですね。

「そう。そして何よりも大きいのは、先程も触れましたが、ウインドサーフィンは女性を受け入れるキャパシティをもっているということ。事実、いまのサークル文化は女性がイニシアチブを持っているわけではないけれど、女性がいないと成り立たない面がある。

——つい先日、それぞれの企業で同好会的にウインドサーフィンを楽しんでいた人たちの間で、全日本実業団ボードセーリング連盟という組織が発足したんですが、そこでも女性の活躍が目立っていた。やはり、テニスもスキーも、そしてバイクもそうですが、女性が参加しないことにはメジャーにはなりきれませんよね」

情報スクランブル

●お忙しい販売店さんのための情報アンテナ

BOOKS

●愛すべきバイクとライダーたちへ
「風が好きだから」

●女性ライダーへのメッセージというサブタイトルがついていますが、女性だけに読ませておくにはチョットもったいない感じ。ストリートに表現された著者の生活感と、その中に自然に登場してくるバイクとのコントラストが読みどころ。軽快で飾らない文章で、素直にページをめくることのできる一冊です。
小川ヨーコ著 誠文堂新光社/¥750



DISK

●気とりを捨てたギターテクニク
「FLASH」

ギター奏者の第一人者、ジェフ・ベックの最



WAVE-BESTS

BGMもお店からお客さまに伝える情報のひとつ、真夏の最新ヒット曲でお店のイメージアップを図りましょう。発信地は東京・六本木のニューメディアスペース「ウェーブ」、日本で一番早くて確かな洋楽LPのヒット情報です。

アルバム名	ミュージシャン
1位 ザ・ドリム・オブ・ザ・ソウル・クルーズ	スタン・グ
2位 アー・エド・パット・シヨフ	ザ・スタイル・カウズ
3位 キュービッドもサイキック'85	スクリッチ・ポリニ
4位 ポーイズ・オブ・ザ・ナイト	ブラチン・フエリ
5位 シンシズ・フロム・ザ・ソング・ライター	ティアー・メフォー・フエテ

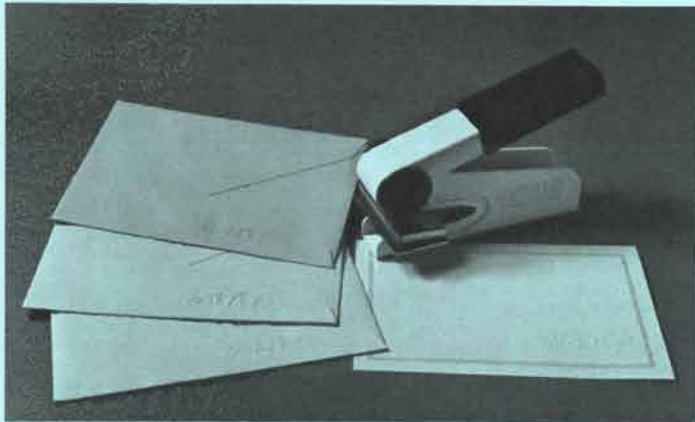
TOOL

●POP作りの新兵器
「発泡スチロールカッター」



DMにひと工夫
「シールプレス」

壁にポスターを貼るだけではチョット淋しい、なんとかもっとインパクトのあるPOPは作れないものか?なんてお考えの販売店さんにピッタリの小道具。ニクロム線の熱を利用して発泡スチロールをスムーズに自由自在にカットしていく便利なものです。しかも切り肌は滑らかで美しく、発泡スチロールを使った立体的POPが思いのままに作れます。
お問合せ・懶清水製作所 07948(2) 1195/A型¥4800・B型¥1800



デザインはお店のマークから手書きサインまで思いどおり。DMの封筒や便箋、ハガキや招待券、カードなどにひと押しすれば、もう注目度バツグンです。

EVENT

●ミニバイクでフルスロットル
「バトル・オブ・サ・スクーターin新潟」

市販スクーターで遊べるだけ遊んでしまおう、という企画です。タイトルはハードでも内容は運命競争にパン喰い競争、ジムカーナとクックソフト。車種も年令も性別も不問とあって、参加意志さえあれば誰でもOKというスクーター運動会です。
お問合せ・アルファ西新潟店 0252 (07) 5335 / 開催日・9月15日、10月20日

●世界のトップライダーの妙技を観戦
「インターナショナル・スーパースタジアムトライアル」

屋内会場で開催される、めずらしいスタジアムトライアル。競技者も昨年度世界ランキング6位までの入賞者に、国際A級全日本ランキング14位までの各選手と、超一流の選手が大集合。人工セクションをつぎつぎとくりアしていき、世界一の妙技をジックリと観戦できるチャンスです。

開催日/9月28・29日 開催場所/国立競技場第1体育館(東京都渋谷区神南2-1-1) 03(468) 1171



♡大盛況のメカニック講習会

味がいいと材料を確かめたり、材料が判ると調理法を知りたくなる。グルメの世界の話ですが、物事に熱申した人の探究心はバイクフリークにとっても同じようです。

東北モータースポーツのメッカ・スポーツランドSUGOのおひざもと仙台にあるB店さんでは、こんなユーザー心理を読んで、メカニック講習会を開いてモータースポーツファンの心をキャッチしています。

この講習会は、毎月1回お店近くのレストランを会場に行なわれるもので、マシン、タイヤ、オイルなどの講義に各取り引きメーカーの担当者が講師に当り、相当に突っ込んだハイレベルな講義が行なわれています。

もともとはお店のクラブ員を対象にはじめたものですが、その講義内容の幅広さと親切さが大いに受けて、口コミが口コミを呼び、現在では毎回30名以上の受講者を集めるお店の人気イベントへと育っています。時間や場所の確保に何かと苦勞の多いライディングテクニックの講習会と比べ、手軽に開催できてし

かも集客率の高いメカニック講習会、一度お試みになつてはいかがでしょうか。

♡増える正統派

ティーンエイジ・ライダー

ゴルフにテニス、スキーにサーフィン、人気の高いアウトドアスポーツの共通点のひとつに、ブレイヤーのヤング化傾向があります。もちろん、モーターサイクルも決してこの例外ではありません。

袋井ヤマハコースで行なわれるYRS・サーキットランコースに集まるライダー、彼らを見てもこの傾向は顕著です。以前は、10代のライダーといえばウェアも揃っていない街乗りライダーをすぐに連想したのですが、今は皮ツナギもバリツとキマツた10代の正統派ライダーがぞくぞくとサーキットに集まってくるのです。あるサーキットランを主催した大阪のYSP店主さんは――

「これはロードレースがヤングの間で人気を得ていることや、テレビなどのマスコミにモータースポーツがどんどん登場するようになり、純粋なスポーツとしてモータースポーツ

が受け入れられるようになったからでしょう」と、この傾向を分析しています。

ヤングの間にも急増している正統派ライダーの芽。なんとか大きく育てたいものですネ。

♡説得力100%のスクーター試乗

スクーターの性能が平均的にレベルアップしたため、パワーが上ったといつても一般舗装路の試乗会だとなかなかお客さまにその違いを理解してもらえない。どこでどう特徴づけたいのか? なんて思っている販売店さんに耳よりなおはなしをひとつ――

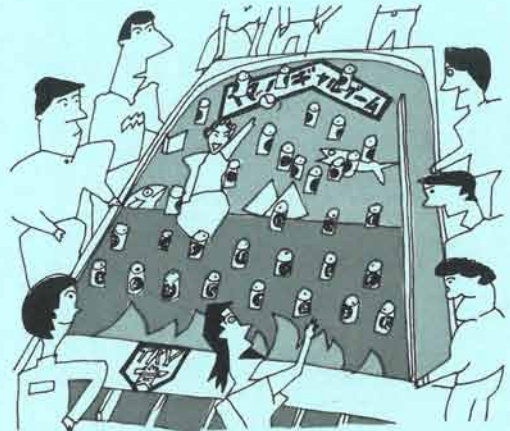
岩手県のS店さんでは、「トライ」の抜群のパワーをなんとかお客さまに理解してもらおうと、ちよつと変った試乗を考案しました。その試乗とは、お店の近くにある神社の参道を利用したもので、急坂なうえグーターの参道は一見トライアル車でも持ち込まなければ走破不能と思われるほど。ここを一気に駆け登るといふヒルクライムばりの試乗です。

最初「トライ」では無理かな、と思いがながらこの急坂にチャレンジしたN社長は、あまりにもスムーズに登り切った「トライ」の走りにビックリ。これだ! と思ってお客さまへの試乗へと踏み切ったのですが、アタマからスクーターでのグート走行は無理と思っ

♡試乗会を活気づけたゲームボード

買うにしろ買わないにしろ、新車が出たら一度は乗ってみたい。ライダーのそんな思いを反映してか、最近の新車発表試乗会は大変な賑いを見せています。でも、乗るだけ乗ったらずくに帰ってしまふ冷めたお客さまたちに、ちよつと物足りなさを感じている店主さんも少なくはないでしょう。

お客さまの足をしっかりと引き止め、十分に楽しんでもらうのもイベント時の大切な要



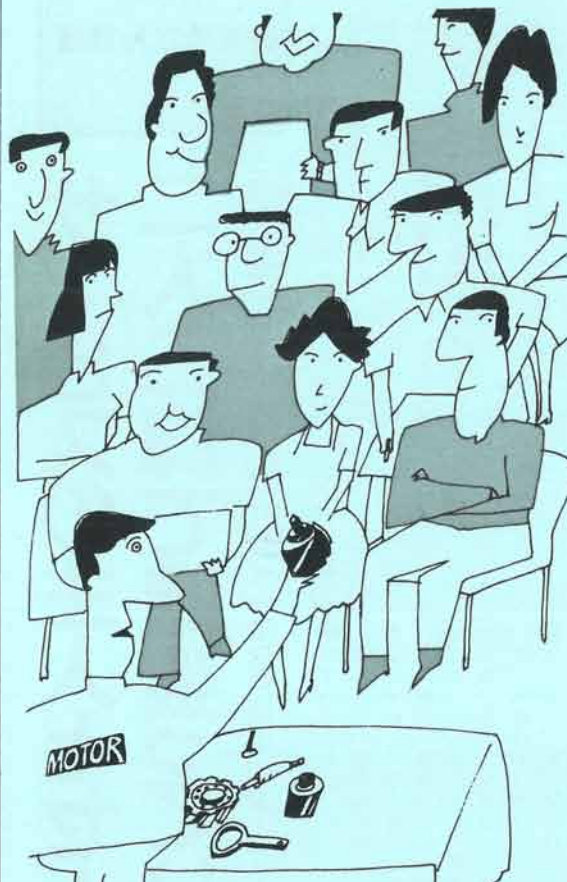
素、そこでヤマハ中部・陸支店の試乗会に登場したのが手作り特大ゲームボード。記念品の決定用にと、釘の变りにビールの空缶、玉はテニスボールというスマートボール風のゲーム盤が大活躍。

集まったライダー達は試乗後のひとときをゲームで楽しみ、会場は大いに盛り上がりました。三角クジをやったりゲームをしたり、お客さまの足止めもアイデアひとつです。

♡お客さまを集める情報コーナー

どんな業種でも、これからのご商売を左右するのは、十分なサービスマンと情報、とは良くいわれることですが、先頃、東京・上野にオープンした大型二輪用品店では、情報コーナーが、お店の一番の売りものだといっています。6階建ビルの上すべてが、バイク用品売り場という驚くべき規模を誇るこのお店の5階が情報フロアー。内外のレース速報やリザルトが掲示されたり、バイククラブが持ち寄った情報の交換などが行なわれていて、来店客は必ずここで足を止めるという人気ぶり。

「いまやこのコーナーが店の顔。一番の集客パワーは、やはり情報ですね」とお店のスタッフも、予想以上の人気に驚いています。

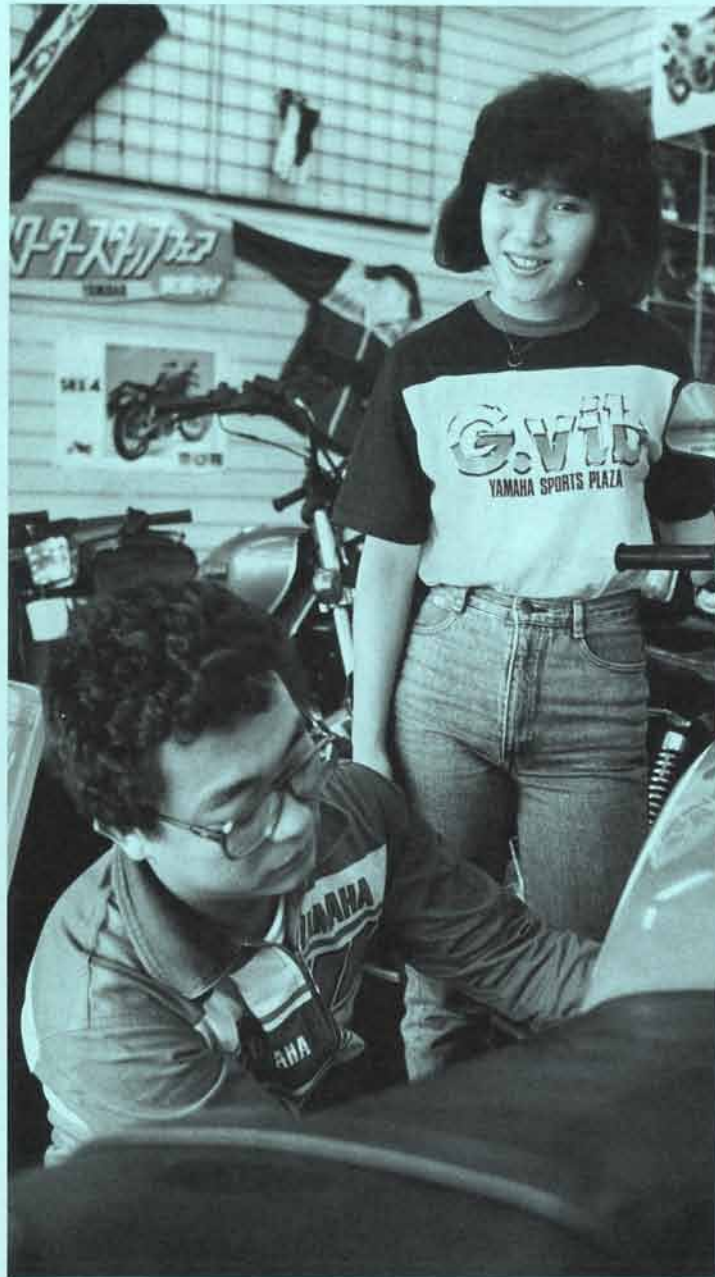


従業員さん登場

⑧

サービスの主人とセールスの私 二人三脚で頑張っています。

小玉志津子さん(25才) YSP品川中央/セールス(東京都品川区)



サービス担当のご主人・規之さんと、セールス担当の志津子さん。コンビネーションもまさに最高

今回ご登場いただいたのは、セールスに活躍する若い奥さま従業員さん。バイクが縁で結ばれたサービス担当のご主人とともにご夫婦そろって同じお店で奮闘中。その活発な接客ぶりで、店主さんからお客さままで、大きな信頼と支持を集めています。

バイク好き同志が一緒になって

自宅近くの販売店さんに勧められるままに、原付免許を取ったのが16歳。この時買ったヤマハT Y 50のおかげでバイクの楽しさに魅せられ、志津子さんの生活は、その後バイクを

中心に大きく変化していきました。

高校から短大に進み、その後四輪のセールスレディとなった志津子さん。学生時代とはうって変り、馴れない営業の仕事に忙しい毎日を送っていましたが、そんな中でも大好きなバイクと一緒に生活は続き、原付から中型へとステップアップ。女性ばかりのツーリングクラブに席を置きながら、暇を見つけてはツーリングを楽しんでいたのです。3年前のそんなある日、ご主人・規之さんと出逢います。

「当時主人は、二輪車のサービスマンを経て

四輪ディーラーのサービスマンとして働いていました。私も四輪のセールスをやっていたとしたし、2人とも無類のバイク好きというこ

とで、すぐに意気投合したんです。人柄も良さそうだったので交際をつづけていたんですが、昨年のはじめに知り合いの赤とんぼ(YSP品川中央、YSP五反田の母体/小海老沢昌利社長)の広瀬マネージャーから「新店をオープンするので手伝ってもらえないか?」って話があったんです。そこで営業経験のある私も一緒にというこ

お店からひと言



広瀬マネージャー

仲間意識でつき合うこと、責任を与えてやるのが若い人たちと上手くやっていくコツだと思います。ひとつの仕事はまかせさせずれば、自分の仕事だから、という気持ちで十分に責任をはたしてくれます。小玉さんの場合もこちらの期待以上に動いてくれるので、私の仕事はなくなつて困るくらいです(笑)

えは)って広瀬マネージャーに勧められてタバタと急ぎ足で式を挙げ、今の生活に入つたわけです」

やがては2人の店を!

「店頭販売の経験は無いのですが、接客とか人と話すということでは以前の仕事と同じだし、もともとバイクが好きなので仕事そのものは辛くはありません。主人と同じ職場というところで、一日中一緒に居るのはどうかな、なんて心配もしましたが、それも適度なディスプレイ、スカッション、人は夫婦ゲンカと呼びますが(笑)、で解消しています。

それに、お客さんがバイクを買ってくれた時とか、買ってくれたお客さんが何度も店に顔を出してくれるようになり、店に馴染んでくれた時なんかは、言いつくせない喜びがあるんです。とてもやり甲斐を感じますね。

唯一の不満を言わせてもらえば、売るのに忙しくて、自分でバイクに乗っている暇がない、ということかな」と、明るい表情で活発に話す志津子さん。もちろん、店長兼サービスマンとして忙しく動き回る規之さんとのコンビネーションも最高です。

「やっぱ将来は2人でお店を持ちたいですね。小さくてもいいから、サービス面の充実した内容のあるお店にしたい、なんて主人とも話しています」

忙しきの中にもシッカリと将来を見つめる若いお2人。そのオシドリぶりがお店を盛り上げ幅広いお客さまの人気を集めています。

ヤマハとJALが握手!

『BIG・BUM JALバイクビレッジ in北海道』で愛車と一緒に ジェット旅行



東京を起点に、ライダーとバイクと一緒に空を飛んで、紅葉の北海道でツーリングとバイクビレッジをまとめて楽しもうという『BIG・BUM (ビッグ・バム) JALバイクビレッジin北海道』が、9月19日から22日にかけて開催されます。

この催しは日本航空が開発したライダーとバイクの画期的な輸送システム、ジェットツーリングシステム(仮称)と北海道ヤマハ主催のバイクビレッジがタイアップして行なうものです。

最大の特徴点となるバイクの空輸は、従来貨物として輸送していたため必ずしも旅客と同じ飛行機に搭載できなかったバイクを手荷物と同じ感覚で出発前に手軽に預けることができ、飛行機から降りたライダーはそのままバイクを受け取り、広大な北海道の大地でツーリングが楽しめるというものです。

さらに、現地でのツーリングの拠点となる宿舎は、北海道でも有数の高級リゾートホテル『ホテルアルファ・トマム』を用意。旅の疲れを十分に癒す設備と、北海道のほぼ中心に位置するために、日高地方や阿寒・摩周湖や、根室、知床、網走などがツーリングの行動半径に入ります。

また、2日間に渡ってツーリングを楽しんだ後のバイクビレッジは、雄大な蝦夷富士こと羊蹄山のふもとにあるニセコ町ポテト共和国で開催され、平忠彦、光安鉄美、伊藤敦志(予定)などのライダーとともに、各種イベントを楽しみ、北海道の地元ライダーとの親睦を深めようという内容で構成されています。この日の宿泊は、ポテト共和国内のペンションです。

タイトルのBIG・BUMとは、広い北海道で、バイクを真に愛する人たちが同じ目的地に集うことを意味してつけられたもの。愛車と一緒に、空の旅と雄大な景観、そしてバイクビレッジを満喫してみませんか?

申込み及び問い合わせは、日航ジェットプラン・リンティングダイヤル ☎03(284)2911まで。先着100名様で締切です。

構です。お気軽にお寄せください。〒438 静岡県磐田市新貝2500 ヤマハ発動機株式会社 広報室宣伝課「ヤマハニュース」係 ☎05383(2)1111 内線2356

YESSスタッフに朗報！ 会員制モトクロスコース 『マイクスパーク』が利用できます。



レンタルバイク使用料(1日) 80cc、125cc、250cc	¥3,500
レンタルウェア使用料(1日)	¥3,000

●通常の会費

個人会員	入会金	¥50,000
	年会費	¥12,000
家族会員 (4名まで)	入会金	¥100,000
	年会費	¥24,000

※マイクスパークでは会員を募集中です。詳しくは事務局までお問い合わせください。

一般書店の店頭でも人気を集める『55mph』



もうすっかりおなじみとなった、モーターサイクルマガジン『55mph』みなさんのお店では存分に活用いただいておりますか？

スポーツバイク・マス広告キャンペーンのメインとなっているこの『55mph』は、東京など一部地域では一般書店の店頭を通じての販売も行なわれて上乗の人気を呼んでいます。

ヤングの街、東京・渋谷のヤングスポーツ・東急ハンズ、内の寿楽洞書店さんでは、渋谷店、池袋店、町田店、大阪・江坂店の全店を通じて『55mph』を販売していますが、『ヤングアダルトのお客さまが多く、バックナンバーを揃えて一括で買いたいという方が目立つようですね』

という反響ぶり。店頭に並びはじめてひと月以上経過したいまも、コンスタントに売れつづけています。

アメリカでも大盛況の バイクユーザーの集い！

●ヤマハスクーター！ ユーザー大集合！

スーパークロス、ダートレース、ロードレース、デザートレースなどのモータースポーツの他にもアメリカでは一般のバイクユーザーが参加して楽しむさまざまなイベントが行なわれています。その多くは、アメリカ版バイクヒレッジともいうような、バイクファンの集い。そんな中から好対象な大小ふたつのイベントをご紹介します。



最初は、5月4日に、ヤマハモーターUSAが傘下の販売店さんと合同で開催した、リバ・リユニオン。リバとはサリアンやシグナスR80などヤマハスクーターのアメリカでの総称。そして、このイベントは、ロス周辺のリバ・ユーザーがYMU Sに集まり、そこからラリーとトランプのポーカーゲームをミックスし

たような、ポーカーランを楽しむながら目的地のナッツベリファームに向かうというもの。

そして目的地では、カスタムスクーターショーやデザイナーパーティも開かれ、ユーザーと販売店さん、ユーザーとヤマハのコミュニケーションを大いに深めていました。

●北アメリカ最大のラリー 「アスペンケード」

もうひとつは、5月14日から6日間、ニューヨークの北に50マイルの保養地レイク・ジョージにのべ1万5千人のライダーを集めて開かれた、アスペンケード・ラリー。

'71年からスタートしたこのイベントは、アメリカのバイクユーザー団体が全米のツーリングファンに呼びかけて年に一回開催するもので、世界中のメーカーや部品メーカー、専門誌などが協賛。安全運転講習会からツーリング・ファッションショーまで趣向をこらしたイベントが、連日くりひろげられました。





ヤマハ創立30周年を機に 5カ年計画の緑化運動がスタート

ことは国際森林年。ヤマハでは会社創立30周年を記念して、全工場に5カ年計画の緑化運動をすすめています。
これは地域社会との調和とうるおいのある職場環境づくりを目的とし、本社工場以下6工場で今年5月から5カ年間で、合計4万本のケヤキ、くす、寒つばき、梅などを植栽するもの。7月2日には、ヤマハ発動機・江口秀人社長と新入社員代表2名が、本社工場にシンボル樹として高さ8メートルの木を植樹しましたが、初年度予定の1万本は、ヤマハ従業員の手で、61年以降の3万本は専門業者に委託して植樹することになっています。

オフロードライディングを通して自然と親しみ、人生をエンジョイしようという目的で、歌手のマイク真木さんがつくった会員制モトクロスコース「マイクスパーク」がY.E.S.S.と提携、スタッフのみなさんが利用できるようになりました。
富士山の麓につくられた全長850m（拡張予定）のモトクロスコースと、シャワーなどの設備をもったフィンランド製のクラブハウスが、コース使用料1日2000円で利用できます。
入場はY.E.S.S.スタッフカードを見せるだけ、バイクやウェアのレンタルもありますので、オンロードのツーリング途中でもモトクロスが楽しめます。東京事務局（株）マイクスパーク ☎03（728）4865 / コース（クラブハウス）山梨県南都留郡鳴沢村大坂7017 ☎0555（85）2817

青森にヤマハファン250名が集う 『第1回SLサマーモトリング in 城ヶ倉』



〔ヤマハ東北棟〕本格的バイクシーズンを迎え、全国各地でサマーフエスティバルをはじめとするライダーのためのイベントが盛んに行なわれていますが、本州最北端の地・青森県では、7月13、14日の2日間に渡り、「SLサマーモトリング」が開催されました。
当日、会場となった八甲田山中・城ヶ倉温泉には、梅雨最後の悪天候にもかかわらず青森、秋田から250名のY.E.S.S.仲間が集合。ゲストに迎えられた庄司覚、平塚庄治、畑山和裕などのヤマハラライダーとともに、ゲームやバイクキングパーティ、ツーリングなどを楽しみ、熱狂と親睦の2日間を過ごしました。

しづきの中の爽快シユプール 『第20回ヤマハ水上スキー教室』開催中！



青いゲレンデを華麗に舞うマリンスポーツの花形「水上スキー」を手軽にマスターできる「ヤマハ水上スキー教室」が、水のレクリエーション基地・ヤマハリナーナ浜名湖で開催されています。
今年で20年目を迎えるこの教室は、その豊富な経験を活かした効率的なカリキュラムにより構成され、1日で水上スキーの基本をマスターできるもの。夏の1日をお客さまとともに、湖上に爽快なシユプールを描いてみませんか。お問合せ ヤマハリナーナ浜名湖 ☎05357（8）0711 / 水上スキー教室インフォメーションまで



平とYZRは国内無敵のつよさでV3へまっしぐら

●'85全日本選手権ロードレースシリーズ 観客総立ちの猛バトルを勝抜き 平忠彦／YZR500 今季5勝目！



本誌前号で第6戦・鈴鹿2000ccレースまでレポートした'85全日本選手権ロードレース。シリーズはその後、6月23日の第7戦・筑波ロードレース、7月7日の第8戦・SUGOロードレースと進展、終盤の3レースを残すのみとなった。

★
メインレースの国際A級500ccクラスが行なわれず、いまひとつ盛り上がり欠けた第7戦・筑波では、TZ250の山本隆義が国際A級250ccクラスに優勝。また、国際B級ながらA級をものぐさで最近注目を集める塩森俊修（SP忠男レーシング）が、この日も大活躍。A・B混走のFIIIクラスにRZ250Rを駆って総合2位、クラス優勝。またB級250ccでもTZ250で2位に7秒の差をつけて圧勝。



①平、②木下、④水谷……こんなデッドヒートが終盤までつづく



久びさのトップライダーの猛バトルに、SUGOグランドスタンドを埋めた大観衆は、総立ちで大声援

みことなダブルウィンで、この日の人気をさらっていた。

★
筑波から2週間、7月7日には舞台をスポーツランドSUGOに移し第8戦が行なわれた。約ひと月ぶりのレースとなった国

■4輪F2レース 松本恵二もヤマハOX66で 全日本F2シリーズに出場！

'79年の全日本F2チャンピオン、'83年のFJGCチャンピオンに輝く日本の代表的ドライバーの一人・松本恵二（チーム・ル・マン）が、7月7日、鈴鹿サーキットで行なわれた、'85全日本F2シリーズ第5戦より、ヤマハ・ニューレーシングエンジン「OX66」で登場して、レースファンを話題をさらっている。

デビュー戦。「ヤマハは直線の伸びがいい感じ。8月のフジ（11日）では、直線の終りの伸びで、相当いけるはずだ」と、語っていた。

「OX66」は、今シーズン初頭からJ・リースのドライブシフトで、全日本F2とFJGCの両シリーズに挑戦。1戦毎にめざましいポテンシャルアップをにつけて注目を集めているが、開発テンポをさらにアップしようとして、リース、松本、2ドライバーでのレース参加となったもの。ヤマハで初出場の松本は、予選で7位。決勝では9位に終わったものの一時はアチソン（ホンダ）と激しい4位争いを演じるなど、まずまずの



松本恵二も加わって残る3戦に期待が高まるヤマハOX66

●'85世界選手権 ロードレースシリーズ

ローソン、 依然2位!

注目の世界選手権ロードレースシリーズ・500ccクラスは、6月29日、オランダ・アッセンで行なわれたダッチTTで7戦を迎えた。豪雨にみまわれたこのレースは、スタート周目に、ランキングリーダーのF・スペンサーと同3位のC・



9月1日の最終戦サンマリノGPまで、残る4戦に最後の追込みをかけるローソンとYZR500

サロンがクラッシュして戦列を離れたという大波乱の幕開けとなった。それだけに、僅か7ポイント差でスペンサーを追うE・ローソンにとっては絶好の逆転時。4位8ポイントを上げれば待望の首位進出が果たせるとあって、つめかけた大観衆の期待を一身に集めたものであった。しかし、ローソン自身もコースサイドの白線に接触してスリップ転倒、貴重な逆転のチャンスを逸してしま

った。一週間後の7月7日、舞台を隣国のベルギーに移し、フランコルシャンサーキットで第8戦が行なわれた。1周6・94、超高速コースとして知られるここでは、スペンサーがスタートよくトップに立つと、R・マモラ、ローソン、サロンらが追いつけるレース展開となった。

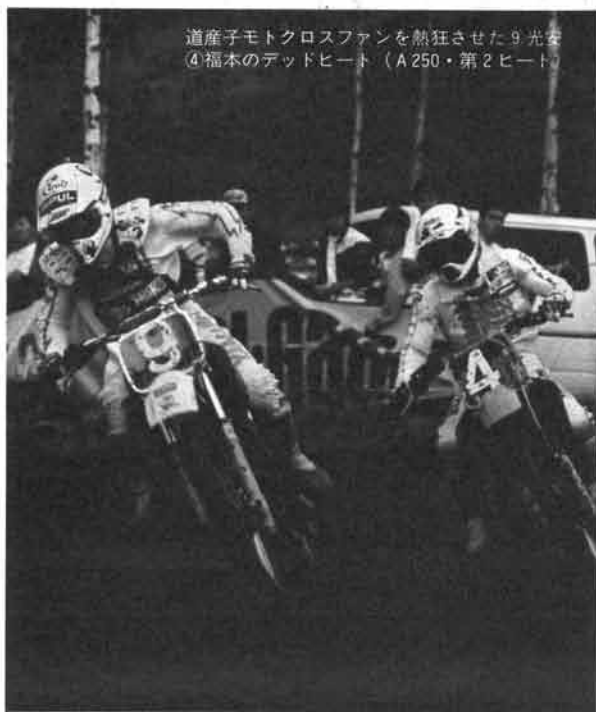
終盤、2位上がったローソンは、この日の最高ラップタイム2分28秒35をマークするハイペースで、スペンサーを追い上げたが、結局5秒の差で2位。3位には同じくヤマハYZR500のC・サロンが入った。この結果、ランキングポイントではスペンサーの96点をトップに、ローソン86点、サロン62点、W・ガードナー61点と続いている。

8月のレーシング カレンダー

- 8月4日
 - ロードレースGP⑩ イギリス
 - 500ccモトクロス⑩ ベルギー
 - 250ccモトクロス⑩ ソビエト
 - 8月11日
 - ロードレースGP⑪ スウェーデン
 - 500ccモトクロス⑪ ルクセンブルグ
 - 250ccモトクロス⑪ 西ドイツ*
 - 四輪F2⑥ フィスコ
 - 8月18日
 - 125ccモトクロス⑪ アルゼンチン
 - 8月25日
 - 全日本ロードレース⑩ SUGO
 - 500ccモトクロス⑫ スイス*
 - 125ccモトクロス⑫ ブラジル*
- *は、いずれも最終戦

●85全日本選手権モトクロスシリーズ 光安とYZ250の猛追が 観衆を魅了!

7月6、7の両日、北海道虻田郡留寿都村のルスツ高原カントリーラ



道産子モトクロスファンを熱狂させた9光安
④福本のデッドヒート (A250・第2ヒート)

ンドに1万5千人の観衆を集めて、第7戦・北海道モトクロス大会が開

●250cc級世界選手権 モトクロスシリーズ J・ビモンド/YZ250 タイトルへさらに前進!

ヤマハYZ250改を駆るフランス人ライダー、ジャッキー・ビモンドが、大きくシリーズランキングをリードしている250cc級モトクロスは、6月23日のスペインGPで8戦を終了した。このスペインGPでも、ビモンドは第1ヒート2位、第2ヒート3位と堅実に上位をキープ。8ラウンドのトータルポイントが220と伸ばし、2位に浮上したオーストリアのH・キニガドナー(KTM)に35ポイントの大差をつけて、初のワールドタイトルをめざしている。

終盤に入りますます快調の
ビモンドとYZ250



催された。YZ250の光安鉄美が、ランキング首位進出をかけて猛烈な追い上げをみせる国際A級250ccクラスは、この日も最もエキサイティングな展開となった観衆を喜ばせた。第1ヒートこそ7位に終わった光安は、第2ヒート首位を行くS・マーチンを追ってまたも驚異的な追撃を展開。スタートで出遅れたものの、前を行くライダーを次々と抜き去り、終盤には3番手に進出。残り2周の時点で2位を行く福本敏夫をビッタリととらえ、そのまま最終ラップの最終コーナーへ……両者の息づまるデッドヒートは、2台ほぼ同時の大ジャンプ・ゴールで幕となったが、光安が僅かに速くチェッカーを受け2位となった。

この結果、首位マーチンの197点に対して光安は14点差の183点。9月1日の第8戦・東北モトクロス大会以降に残る3戦に逆転の期待が集まっている。

なお、この第7戦、国際B級では125cc、250ccの両クラスにヤマハYZ2で出場の田淵武(大磯ムスタング)が大活躍。スタートからぶつち切りのつよさで両クラスを制し、話題を呼んだ。

SALES

『セロー225』拡販はお店の『乗せる工夫』から!

本誌カラーでもご紹介のように、この8月よりオフロードの世界に新しいカテゴリーを切り拓く『セロー225』を新発売します。そこで、今回は『セロー225』の拡販のポイントについて、ご説明をさせていただきます。

1人でも多くの有力見込客に『セロー225』の体験試乗を

ゆとりあるエンジンとジャストサイズとの調和による乗りやすさと、オフロード走破性に優れた強靱な足まわりを發揮するマウンテントレール『セロー225』の拡販にあたっての重要なポイントは、お店の乗せる工夫によって、1人でも多くのお客さまに試乗させて、『セロー225』の魅力伝えること。従って、発表試乗会における試乗や店頭におけるデモカー試乗をはじめ、ツーリング時における交替試乗やオフロードYRS等の各

種スクーリング時における試乗など、ありとあらゆる機会を通じて1人でも多くの有力見込客に『セロー225』の体験試乗会を展開してください。

お客さまのニーズを見極め適切なセールスアプローチを図ろう

さらに、もうひとつの『セロー225』の拡販のポイントは、お客さまのニーズを見極め、適切なセールス・アプローチをすすめること。ただ単に試乗会を実施するだけではなく、幅広いトレールランの楽しみの中から、幅広くお客さまのニーズをつかみ、満足していただくためのプロモーションを設定するにかかっています。

以下に紹介するのは、お客さまのタイプ別のセールス・アプローチ方法の一例です。皆さまのお店でのメニュー作りの参考にどうぞ。

- ① オフロードランが根柢から好きというオフロードマニア → 山岳や溪流の難所コースを含んだ林道ツーリングを体験させる。
- ② スーパートレールを卒業したエンthusiast → 走る楽しさだけでなく、自然と親しむ楽しさを体験させる。
- ③ セカンドバイクにオフロードバイクを求めているオンロードユーザー → すべてのオフロードランを満足させるキャパシティの幅広さを体験させる。
- ④ ちよつとオフロードをかじってみたいというライダー → トレールランの素晴らしさ、楽しさを体験させる。
- ⑤ 遊びにも通勤にも幅広く使いたいというヤング&ヤングアダルト → デモカーで乗り易さを体験させる。



よう、お客さまに徹底したアドバイスを展開してください。

SERVICE

ヤマハ技術講習会でお店のサービス力を充実させよう!

お店のサービス体制は万全でしょうか? 従業員さんのサービス力は十分に發揮されていますか? ヤマハ技術講習会では、7つのコースを開設して、サービス技術を指導。皆さまのお店のサービス力の充実化をバックアップさせていただいております。以下に紹介するのは、9月と10月の開催スケジュールです。ぜひこの機会にご参加ください。よろしくお願いいたします。

ヤマハ技術講習会スケジュール

■ヤマハ研修会館

- 9/4(水)~6(金) 電装(全国募集)
- 9/11(水)~13(金) 4 DOHC
- 10/2(水)~4(金) 4 DOHC
- 10/8(火)~9(水) 2 単気筒

■研修センター東京

- 9/10(火)~12(木) 4 DOHC
- 9/17(火)~19(木) 2 単気筒
- 9/26(木)~28(土) 2 単気筒
- 10/1(火)~3(木) 4 DOHC
- 10/7(月)~9(水) 2 単気筒



5月22~24日に研修センター東京で開かれた「2 単気筒コース」の受講生みなさん



6月4~6日に研修センター東京で開かれた「4 DOHCコース」の受講生みなさん

- 10/16(水)~18(金) 4 DOHC
 - 10/23(水)~25(金) 2 単気筒
- 研修センター神戸
- 9/4(水)~6(金) 4 DOHC

お揃えください! 『サービスマニュアル』

'85ニューモデルの『サービスマニュアル』が追加されましたのでご紹介いたします。皆さまのお店にもぜひ一冊お揃えください。価格は標準価格です。

- セロー225(1KH12819700) 8月下旬に完成予定/価格未定
- YF60(1HN12819700)
- 注文ナンバー||321092/2400円
- DT125R(34X2819705) 注文ナンバー||321093/200円
- Vメイト(AK12819700) 注文ナンバー||321094/2200円

※詳しくは、最寄りのヤマハ特約店・販売会社の営業技術課までお問合わせください。

『オフロードYRS』を開催しましょー！

この夏、お店独自で、また地域の販売店さまと合同で、『オフロードYRS』を開催してみませんか。オフロードランの正しい楽しみ方を指導する『オフロードYRS』は、運営ツールも充実していますので誰にでも容易に運営が可能。開催準備から運営まではヤマハ販売会社・営業所もお手伝いしますので、一

店でも開催することができます。折りしも、この8月はマウンテントレールの世界を拓くニューモデル・セロー225も新発売されます。ぜひ、この機会に多くのお客さまに、オフロードランの乗り方をアドバイスし、オフロードスポーツの楽しさをアピールしてください。

『オフロードYRS』運営ツール一欄

- ① オフロードYRS運営マニュアル
『オフロードYRS』の運営ノウハウを順を追って解説。品番096501。頒価200円。
- ② オフロードYRSインストラクターマニュアル
インストラクターのための指導ノウハウを
- ③ オフロードYRS受講申込書
受講申込用カード20枚セット。品番096503。頒価400円。
- ④ オフロードYRSポスター
店頭告知用のポスター。必要事項はホワイトスペースに独自に書き込めます。品番096504。頒価120円。

- ⑤ オフロードYRSテキスト
受講生用テキスト。小型ポケットに入るサイズ。品番096505。頒価150円。
- いよいよ開催！
『第18回二輪車安全運転全国大会』
二輪車の安全運転技術と交通徳の向上を図り、交通事故の防止を目的とした『二輪車安全運転全国大会』（主催/財団法人交通安全協会二輪車安全運転推進委員会）が、来たる8月10日（土）、11日（日）の2日間にわたって三重県鈴鹿市の鈴鹿サーキットにおいて開催されます。
※詳しくは、担当セールスにお問合せください。



『YESSツアーリングノート』では随分お世話になります！



すでに皆さまのお手元に届いていると思いますが、今回はYESSオリジナル用品のひとつ『YESSツアーリングノート』の活用方法について、ご説明させていただきます。
『YESSツアーリングノート』の目的は、お

客さま（YESSスタッフ）のツアーリング活動の活性化にあります。そして、そうした活動を通じてスポーツバイク需要をさらに拡大することにあります。
具体的な活用方法については、以下に詳しくご説明いたしますが、まずは『YESSツアーリングノート』が単にYESSスタッフのためだけのツアーリンググッズだけではなく、今後のスポーツバイク商戦における販売店さまご自身のご商売用ツールとして、ご利用いただけるものであるということをご理解ください。
お店とお客さまが一丸となって『ツアーリングMAP』作りを進めよう！
『YESSツアーリングノート』は、お店とお客さま（YESSスタッフ）とのコミュニケーションツールです。スポーツバイクを販売した後も、お客さまを来店させるキッカケを与えるものとしてご利用いただけます。
また、お客さまがお店に持ち寄られたオリジナルの『ツアーリングMAP』を、別のお客さまに見せ合うことによって、他のお店にはないとおき情報の提供ができるものです。

- ① お客さまに手渡す！
すべてのスポーツバイクのお客さまにお渡しください。1冊1350円ですが、新車購入時やYESSスタッフ募集のプレミアムとしてご活用ください。
- ② ツーリングを活性化する！
お客さまにツアーリングをおすすめください。そして、オリジナルの『ツアーリングMAP』の作成を呼びかけます。ツアーリング後には『ツアーリングMAP』をお店に持ち寄らせてコピーをとってください。
- ③ 『ツアーリングMAP』をPRする！
お客さまが作成した『ツアーリングMAP』をファイルしてください。そして、すべてのお客さまが気軽に見られる場所に、置いておきましょう。時には、壁面にそれを貼って飾りつけるのも効果的です。
YESS事務局では、皆さまのお店が集めた『ツアーリングMAP』をもとに、『YESSツアーリングガイド』を製作する計画もあり、既製の地図では得られないオリジナルな地図作りのご指導をお願い致します。

※詳しくは、担当セールスもしくはヤマハ営業所のSLマンにお問合せください。

レースイベントに活用ください。
SLレースをはじめとするYESSのイベントやお店の催しに便利な『コーステープ』と『バナー』が完成しました。

- ① YAMAHAコーステープ
カラー／青と赤の2タイプ ●サイズ／テープ幅118cm、長さ1500m ●価格／2500円。
- ② YESSバナー
カラー／YESSカラー ●サイズ／66cm × 370cm ●価格／1800円。

※詳しくは担当セールスマンもしくはSLマンにお問合せください。

AMEモータースポーツクラブ

YSP札幌中央(株)アメヤモーターサイクル 船谷 孟社長 札幌市豊平区豊平3条10丁目1-20

広大な北海道の大地でモーターサイクルスポーツの普及とバイクファン育成をすすめる船谷社長の心意気が、そのまま伝わってくるようなグループ、それがあらゆる分野で大活躍するAMEモータースポーツクラブです。



●7つのクラブに分化して活動

北海道でも数少ない本格的なバイク専門店としてアメヤモーターサイクルさんがオープンしたのは昭和52年。同時に「AMEモータースポーツクラブ」も活動を開始しました。その名の通り活動もモトクロスやトライアル、スノーモビルなどのモータースポーツが中心。当時のクラブ員は10名でした。

ところが、翌年には会員も50名に増え、8年経った現在では、なんと238人を数えるまでに成長。しかも、全員がY.E.S.S.のスタッフ会員といえますから驚きです。

これにつれて活動内容もモトクロス(12人)、トライアル(38人)、スノーモビル・ツアー(26人)、ツーリング(20人)、林道ツーリング(20人)、ミニバイク(6人)さらに今年からスタートしたロードレース(3人)へと分化。AMEモーターサイクルクラブは、いわばこれら各グループの統括本部として機能するようになったのです。そして、どのグループにも属さない人は登録メンバーとなっています。「オープン当初から、バイク好きな人を増やしたい、というのが私の信念でしたからね。それにモーターサイクルスポーツも北海道にはいっぱいあったから、気がついたら238人もの大所帯になった」と船谷社長。

各グループには、キャプテンと呼ばれる会長がおり、年に1回キャプテン会議を開いて各グループの活動方針の決定やイベント・スケジュールの調整を行っています。そして、これだけ分化した各グループ間の情報交換の大役を果たしているのが毎月1回、お店から発行されている会報、ももんがニュース(B4判・裏表)です。

同時に「AMEモータースポーツクラブ」のメンバーはすべて、お店のお客さまの組織「AMEゴールドメンバーズ」にも登録され年3回の無料点検サービスや部品・用品・サービス料金の割引、キャッシュレス・ショッピングや交通傷害保険などの特典を享受しています。

●いちばんハードなトライアル

では具体的に、各グループの活動状況を見てみましょう。伝統のモトクロスは、あまり

8年間で238名の大所帯に成長 もっかの夢は、クラブハウスの建設



ヤマハのインストラクター経験もあり、今もモータースポーツの競技役員として活躍する船谷社長(中央)を中心に、YSP札幌中央のスタッフのみさん

エスカレートしすぎて、お金をかけすぎることがないように、というのが当面の方針。趣味として楽しみながら、若いライダーの育成を進めています。

これとは逆に、大学の体育会風に厳しいのがトライアル。

「和気あいあいなんてことは大キライだから、トライアルに限っては厳しい。練習もよくやるし合宿もある。落ちこぼれる人もいるくらいだよ」とトライアルには船谷社長ご自身もとりわけ熱心。あまりの熱心さに「トライアルごっこをやる二軍的クラブがあってもいいのでは……」という声も上がって、もっか、スコティッシュ・クラブなる新グループの発足も検討中。

そして、マナー厳守、時間厳守の超優良クラブ・ツーリングでは、もっかの課題は新しいメンバーの加入です。

●クラブを通じて ライダーのよき先輩に

「各競技や遊びごとにクラブがあるから年間のスケジュール調整が大変。キャブテンが重ならないように四苦八苦しているよ」と語る船谷社長のクラブに関する考えは明快です。

「クラブっていうのは、本来クラブハウスがあって、同好の人たちが集まり、楽しみを分かち、言いたいことを言いあい、より良い方向、より楽しいあり方を考えあうものだと思う。1から10まですべてのことに店が口を出し、面倒をみるようなものとは思わない。メンバーがみんなで討議して出口がわからなくなった時だけ、私が助け船を出してあげる」そんな船谷社長がいま構想を練っているのが、クラブハウスの建設と、そこを中心に文字通り会員の力で動かしていくクラブ運営、そして、ももんがニュース。ばかりでないクラブ員同志の交流のあり方、さらに幅広いモータースポーツの底辺の拡大……。

「本当に構想はほとんどん抜がっていつてしまうのですが、なにはともあれ、バイクを通じて友だちを作り、人間性を育てて欲しい、よき先輩に育って欲しいという気持ちでいっぱいなんです」

そう語る船谷社長の表情は、もう完全に「ライダーのよき先輩」の顔に変わっていました。



↑オープン当時から導入されているコンピュータには3200名のぼるお客さまのデータがインプットされている

入りやすい店舗で一般客を誘店 バイク本来の楽しさを教えて定着を図る!



「YSP大阪南」の店舗は、大阪府堺市浜寺船尾町東3丁170-1にあり、阪神高速道路が第2阪和道路につながる所からほど近い場所に「YSP大阪南」さんがあります。オープンして丸4年、いまでは、ヤマハのスポーツバイクのお店として、地元はもちろん周辺の高石市、和泉市、松原市、岸和田市へと商圏を広げ、さらにお客さまの口コミを通じて他府県から訪れるユーザーも少なくはありません。そんな「YSP大阪南」さんのお店について、最初にオヤツ?と思うのがショールームのつくり。店頭オープン展示スペースをゆつたりと割いて、さらにショールームをとり囲むように店内の展示スペースを設けた店舗2方をウィンドで囲まれたショールームはその一番奥、広さも72㎡とお店全体から見るとかなり小さ目です。しかも、FZシリーズをメインとしたスポーツバイク展示、用品コーナー、ビデオコーナー、接客カウンターなどが設けられたこのショールームには、ブラリとお訪れたお客さまが座ってくつろげるような椅子などがひとつも置かれていません。

「選挙でいえば浮動票」
また、店頭オープンスペースをゆつたりとってショールームを最少限に押えたのも、最少のスタッフで効率いい商売を考えていることなんです。
ウィンドショッピング気分オートバイを

●誰れでも入れる、特徴のないお店!
堺市の中心部から南へ3km。阪神高速道路が第2阪和道路につながる所からほど近い場所に「YSP大阪南」さんがあります。オープンして丸4年、いまでは、ヤマハのスポーツバイクのお店として、地元はもちろん周辺の高石市、和泉市、松原市、岸和田市へと商圏を広げ、さらにお客さまの口コミを通じて他府県から訪れるユーザーも少なくはありません。そんな「YSP大阪南」さんのお店について、最初にオヤツ?と思うのがショールームのつくり。店頭オープン展示スペースをゆつたりと割いて、さらにショールームをとり囲むように店内の展示スペースを設けた店舗2方をウィンドで囲まれたショールームはその一番奥、広さも72㎡とお店全体から見るとかなり小さ目です。しかも、FZシリーズをメインとしたスポーツバイク展示、用品コーナー、ビデオコーナー、接客カウンターなどが設けられたこのショールームには、ブラリとお訪れたお客さまが座ってくつろげるような椅子などがひとつも置かれていません。



密な活動と接客の拡大を心がけたユーザーの感動を伝える社長と店長

「誰れでも入れる、特徴のない店」これがうちの狙いなんです。特別なカラーを強烈に打出してしまおうと特定のお客さまに偏って、広く不特定多数の人を集められませんか。おまけに常連客が店内に多勢いて、一般客が気軽に声もかけられないようでは……ね。ですからショールームは必要以上に居心地よくしていません(笑)。いまのような、店で来店客を待っているカウンターセールスでは、こうした方がお客さん1人当りの接客時間も短縮できるんですよ。

「誰れでも入れる、特徴のない店」これがうちの狙いなんです。特別なカラーを強烈に打出してしまおうと特定のお客さまに偏って、広く不特定多数の人を集められませんか。おまけに常連客が店内に多勢いて、一般客が気軽に声もかけられないようでは……ね。ですからショールームは必要以上に居心地よくしていません(笑)。いまのような、店で来店客を待っているカウンターセールスでは、こうした方がお客さん1人当りの接客時間も短縮できるんですよ。

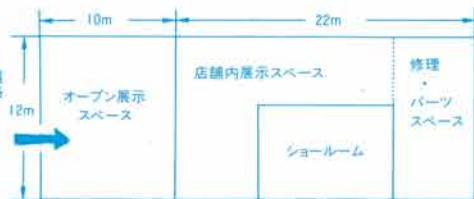
見ている人は、オープン展示だけ見て帰ってしまいがちで、ショールームまで入ってくる方は購入意識が相当に高いわけですね。当然、こちらもお客さまに合わせた対応ができますからね。
●YRSやYESで、まず、お客さまのライダー意識をアップ
とはいえ、お客さまいかにお店に固定化するかがカギ。といわれるこれからの商売の中で、「YSP大阪南」さんのこうした方向は、いさか時代に逆行するのでは、という気もするのですが……。
年間売り上げが約800台。うち30%が固定客の代替で、70%は新規です。新規といってもほとんどは17、18才のヤング。1台で終ってしまおう人たちです。
たしかに、こういう人々を固定化し、代替へと結びつけていくのがうちの課題でもあるのですが、そのためにはオートバイ本来の魅力を教えてあげ、オートバイ好きにさせなければならぬんです。
つまり、お店とお客さまという関係を一歩進めて濱本社長は、お客さまとオートバイという関係にも深く目を向けられているのです。「そのための活動として今は、若いお客さまをYRSサーキットランコースへ案内していきます。上手に乗りこなせばそれだけで、オレはライダー」という自信と優越感が生まれ、オートバイファンとして定着させられますからね。
これとあわせて、「ロードランナー」というお店のツーリングクラブも、定期開催のマスツーリングでオートバイファンを増やしています。「大切なのは、マスツーリングにも参加しないで1人で楽しむ人。そんなお客さまのツーリングの相談にもしっかりと力を入れていま



↑Y.E.S.S.スタッフボードも2枚目に突入!



→*ショールーム。は一番奥。「ここまで入ってくるお客さまは、購入意識も相当高い」



→コーヒーの自販機なども置かれたショールームの一隅。事務カウンターには登録費用などもしっかりと掲示されている

↓2か月〜3か月に1回は展示を一新。*いつ行っても新鮮なお店。*行けば必ず新しい発見があるお店。を印象づけている



→お店の活動は、写真速報で店内に掲示。これは6月の「YSPロイヤルツアー」のもの



●顧客化にサービスタッフも大活躍

お店にお客さまがくつろぐためのスペースはないものの、メンタルな面での満足度をしっかりと与えてお客さまの固定化を進めている「YSP大阪南」さん。そんな中で、もうひとつ大きなパワーになっているのが、2名の2級整備士、1名の3級整備士と計3名で担当しているサービス部門です。

「サービスも最少限の人数で最大限の効率を狙っています。故障車の引取り用にパワーゲート付のトラックを2台導入したのもそのためなんです。おもしろいことに最近、彼らサービスタッフの販売面での活躍が目立つんですよ。

つまり代替、増車のお客さんは、ほとんど店のサービスタッフのアドバイスで車種を決定しているんです。彼らの商品評価は、お客さんにとって一番信びよう性があり、説得力もあるんですね」

7月中旬まででY.E.S.S.スタッフの数136名という「YSP大阪南」さん。効率的なレイアウトのお店ですっかりと不特定多数のお客さまをつかみ、活発な活動でバイクファンにお店の顧客化を進める濱本社長です。

すよ。プランを練ってあげたり、地図を作ったり、穴場を教えたりね。そんな時にとても参考になるのがY.E.S.S. 加盟店になって本当に良かったと思っています」

■新商品コーナー

よりファッションナブルに、より機能的に、新登場
『85-86 FALL & WINTER ヤマハライディングウェア』 予約開始!

好評の85スプリング&サマー・ライディングウェアに引続き、このほど『85-86 フォール&ウィンター・ライディングウェア』の予約セールが開始されます。今回、発表の『85-86 フォール&ウィンター・ライディングウェア』は、80アイテム。ヤングに人気のブルゾン、ジャケットからスウェットシャツやレーシングスーツ、グローブ、ブーツまでを用意して、バイクファンの期待にこたえるものです。皆さまのお店でも、この機会に『85-86 フォール&ウィンター・ライディングウェア』をお取揃えいただき、用品需要の拡大をお図りください。なお当商品は9月から10月まで順次新発売されます。



RY-102
レーシングブルゾン

斬新なプリントデザインとラボック加工がセールスポイント。
 ●素材：表/ポリエステル100% (ラボック)、裏/ナイロンキルト ●カラー：ブルー&ネイビー&ホワイト、レッド&ネイビー&ホワイト ●サイズ：M、L、LL
 ■価格/15,800円



RY-100 レーシングブルゾン

独特の光沢をもつ異形プライト素材を使用。好評のバックプリントオーダーシステムの対象商品です。
 ●素材：表/ナイロン100% (異形プライト)、裏/ナイロンキルト ●カラー：ブルー、レッド ●サイズ：M、L、LL
 ■価格/13,500円



RY-600
サーキットスウェットシャツ

レースシーンをイメージしたレッドとネイビーのトレーナー。
 ●素材：T/C ●カラー：ネイビー、レッド ●サイズ：M、L
 ■価格/5,800円



GY-601 ジオラマスウェットシャツ

ホワイト地を大胆に生かしたオシャレなトレーナー。
 ●素材：T/C ●カラー：レッド&グレー&ホワイト、ネイビー&サックス&ホワイト ●サイズ：M、L、LL
 ■価格/5,800円



GY-102
ジオラマブルゾン

タウン着として、また他社ユーザーのウェアとしての拡販が期待できます。
 ●素材：表/ポリエステル100% (ラボック)、裏/ナイロンキルト ●カラー：レッド&ホワイト&グレー&ネイビー、サックス&ホワイト&ブルー&ネイビー ●サイズ：M、L、LL
 ■価格/16,800円



GY-103
ジオラマブルゾン

鮮やかなレッドとターコイズブルーが印象的。
 ●素材：表/ナイロン100% (異形プライト)、裏/ナイロンキルト ●カラー：レッド&ブラック&グレー&ホワイト、ターコイズ&ネイビー&グレー&ホワイト ●サイズ：M、L、LL
 ■価格/15,800円



GY-101 ジオラマブルゾン

*ジオラマのイメージカラーでデザインされたレーシングブルゾン。
 ●素材：表/ポリエステル100% (ラボック)、中綿/ポリエステル綿、裏/ナイロン100% (シーベ) ●カラー：レッド&グレー&ホワイト、ネイビー&サックス&ホワイト ●サイズ：M、L、LL
 ■価格/18,800円

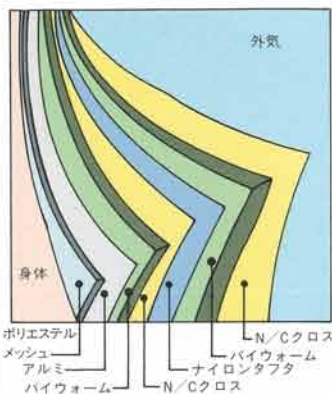


『85-86 フォール&ウインター・ヤマハライディングウェア』の売りどころは、そのファッショセンスあふれるデザインもさることながら、なんといっても徹底的に追求したライディング機能。数か所のテストの実績と、最新テクノロジーの採用で、あらゆる面から苛酷な条件にあるライダーのための快適性を高めています。

例えば『RY-106 ウォームジャケ

『85-86 フォール&ウインター・ヤマハライディングウェア』

■ここが違う！ヤマハ・グッズ
 苛酷な条件をあらゆる面からシャットアウト！



ツトの場合なら、左図のように7層構造の素材を使用。断熱効果に最も優れた空気をいかに動かさずに身体と外気の間を保たせるかに留意しています。

また、同時に、外気の入りやすい腰の部分も、インナーベストとジャケット部との2重構造にすることによって外気をシャットアウト。ライディング機能をそこなわずに、防寒機能の向上を図っているのです。



RY-103 レーシングブルゾン

ツーリング時の視認性を高める蛍光バイピングと、上下2層のファスナーポケット付き。
 ●素材：表/ナイロン100% (異形ブライト)、中面/ポリエステル綿、裏/ナイロン100% (シーベ)
 ●カラー：レッド&ホワイト、ブルー&ホワイト
 ●サイズ：M、L、LL
 ■価格/17,800円

RY-104 レーシングブルゾン

さわやかな光沢をはなつレーシングブルゾン。タウン着としてもおすすめできます。
 ●素材：表/ポリエステル100% (ラボック)、裏/ナイロンキルト
 ●カラー：レッド&ホワイト&ネイビー、サックス&ホワイト&ネイビー
 ●サイズ：M、L、LL
 ■価格/16,800円



GY-600 ジオラマスウェットシャツ GY-602 ジオラマスウェットパンツ

ヤングの躍動感をイメージしたスウェットシャツとパンツの組み合わせ。それぞれ単独にて販売します。
 ●素材：T/C ●カラー：シャツ/ブルー&ホワイト、マスタード&ホワイト、ターコイズ&ホワイト、パンツ/ブルー、マスタード、ターコイズ ●サイズ：M、L
 ■価格/シャツ=6,400円/パンツ=6,800円

■ディスプレイ・ワンポイント

これがウェア展示のポイント!

『85-86 フォール&ウインター・ヤマハライディングウェア』の新発売にあたって、皆さまのお店でもとくにご留意いただきたいのが、ディスプレイの方法。カラフルな商品を、遊びごころいっぱいディスプレイして、多くのお客さまにご紹介ください。

①壁面を利用しよう!

店内の壁面に躍動感いっぱい飾りつけましょう。合わせて商品名や価格などの告知も図りましょう。



②空間を利用しよう!

バイク本体の上部空間を有効に使いましょう。厚目のボール紙を型抜きして、天井から吊るす方法が効果的です。



③立体展示を多用しよう!

マネキンに新品を着せて、バイクにまたがらせるのもひとつの方法。店内の目立つ位置に展示しましょう。



④トータルコーディネートしよう!

単一商品だけでなく、ヘルメット、グローブ、ジャケット、スーツ、ブーツの組み合わせでディスプレイしましょう。

コミュニケーション・テーマ

in rapture

『in rapture』(インラプチャー)とは、何かにひたむきに打ち込み、夢中になっている状態。ヤマハは、こうした若者のマインドに応える用品を通じて、モーターサイクルの世界に『in rapture』シーンを提供しつつけていきます。

※ここにご紹介した商品は、『85-86 フォール&ウインター・ヤマハライディングウェア』の一部です。詳しくは担当のパーツセールスマンにお問合せください。

THE LATEST AD GUIDE

雑誌から、テレビから ヤマハ・スクーターの話題づくり!

夏のスクーター商戦もいよいよたけなわ。それにタイミングを合わせて、ヤマハではいま雑誌とテレビの2大メディアをミックスしながら『キュート』をはじめとするヤマハスクーターの話題づくりを積極的に進めています。*クロワッサン、J.J.など女性誌を通じての『キュート』商品広告(写真下)、またこの雑誌広告と共通イメージのテレビCMも全国ネットで放映中です。

キュート・CMソング キャニオン・レコードから発売!

こうしたマス広告キャンペーンと連動して『キュート』テレビCMのテーマソング『ふだんがキラキラ』(ダンシン・イン・ザ・メドウグリーン)が財団法人ヤマハ音楽振興会の制作によりキャニオンレコードから発売になりました。

LA出身の実力派シンガーソングライター、ジム・フォトグロがさわやかに歌うこの曲は、女性キーボードトリオ・COSMOSの主力メンバーとして幅広く活動していた土居慶子さんの作曲によるものです。

★

『キュート』をはじめとするこれら一連のスクーター広告キャンペーンを、みなさまのお店のこの夏のスクーターセールに、どうぞご活用ください。



特別なときや所じゃない。ふだんの何気ないシーンのなかで輝いている。そんなあなたが素敵です。いちばん素敵です。キュートに選んで、イライラのイヤ...目にも映るものさえ、かほはえんでくれる。誰りかけてくれる。そのとき、あなたはキラキラ。ふだんがキラキラ。毎日を新鮮に生きる心のキュートです。

YAMAHA
Cute:

HAVE A NICE RIDE!

※ヘルメットを必ずおはきし、安全運転を守りましょう。無免許運転は厳禁です。公道走行には必ず免許を所持し、法令を遵守してください。

YAMAHA
株式会社ヤマハ発動機
〒165 東京都豊島区西池袋1-1-1
TEL:03-3992-1111

ヤマハニュース 8月号 ● 昭和60年8月1日発行 ● 発行所...ヤマハ発動機株式会社 〒143 静岡県豊田市新貝2500 ● 05383(2) 1111 ● 内線2356 ● 発行人...小宮 功